

宮崎大学医学部整形外科

同門会誌

第 21 号
平成 22 年 5 月

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会



平成21年度 宮崎大学医学部整形外科学教室 新入教室員歓迎会 平成21年 4月11日 於 宮崎観光ホテル



平成22年度 宮崎大学医学部整形外科同門会 平成21年11月28日 於 宮崎観光ホテル



ご挨拶

河野雅行

皆様方にはお変わりなくお過ごしのことと
思います。

多少古くなりましたが昨年夏に政権交代があり、それに伴い福祉政策が見直され、今春診療報酬の改定が為されました。この会誌がお手元に届く頃には新診療報酬での医療が実施されていることでしょう。現在叫ばれている地域医療崩壊の最大の原因は小泉政権以来の医療費削減・抑制策にあります。新政権の選挙前の公約に拠り、政権交代後には医療・社会福祉の充実がされるものと大きな期待がありました。しかしながら、選挙前には大幅なアップを約束していたのが、政権与党になった途端にトーンダウンして、紆余曲折の末に僅かに0.19% (実質0.03%)のアップとなってしまいました。救急医療、産科、小児科、困難な外科手術等に手厚く廻され有床診療所の入院基本料が僅かにふえました。5分ルールが撤廃され、毎年の医療費2200億削減が中止された事は朗報ですが、診療所の再診料は引き下げられました。これでは地域医療崩壊を食い止める効果は有りません。少なくとも全体的に10%程度はアップしないと崩壊の傾向は止まりません。2年後には医療保険と介護保険の同時改定が行なわれます。財源が乏しい中での遣り繰りは医療に取りまして

は更に厳しくなることが予想されます。

医療を取り巻く問題は様々あります。整形外科関連では医療類似行為として、今迄の柔整士問題に加えて、既に報道された様に、NP問題も持ち上がってきました。政府の方針として、一定の研修を終えた看護師に制限付であります。医療行為を認めようと言う制度です。医療関係法律からも簡単に医療行為を認めて良いのでしょうか。しかも医師の指示の元に行なう行為とされていますので、問題が起こった際には医師も共同責任となります。医師不足・医療費削減の為と称して、医師の活動範囲を狭めて、他職種の行為を拡大すれば反って医療費の増大に繋がる様に推測されます。寧ろ現行法律の元で各自が各々の立場で職務を確実に遂行する事が最善と思われれます。これも今後注目して行く必要があります。その他、研修医不足・地域の医師不足・・・懸念材料は山積しております。今回も最初から暗い話題になりました。どうやら私の性格なのか、集まって来る情報は暗いものばかりで申し訳ございません。

4月1日に日本医師会の新会長・原中氏が選出され就任演説を聴きました。就任直後ですので割り引いて聴いても、期待の持てる内容でした。これも今後、注目してゆく必要があります。

一方、教室に於かれては、木村、田島教授の築かれた教室を、帖佐教授が盛り立てられ、整形外科一般はもとより、特にスポーツ医学に関しては文科省からも、日整会からも全国的に一目置かれる存在になり、実績も着々と挙げられています。

本年も3名の新規入局者があり、医師不足のこの時代に於いては実に喜ばしい限りです。同門会には更に1名の新入会がありました。御入

会並びに積極的な活動を歓迎いたします。同門会は昨年役員改選で本年度から新役員で運営しております。若い先生方の運営参加を熱烈歓迎しますので、是非申し出て下さい。

我々も社会に生活している以上、医療のみを考えているのは許されない雰囲気ですが、「医療が良くなれば社会が良くなる」と信じて行動する事が肝要と思われます。

今後の皆様方の御活躍を祈念いたします。



新入教室員歓迎

帖 佐 悦 男

昨年度は、オバマ政権や民主党政権の誕生、新型インフルエンザの流行や温暖化といわれている割には異常な寒さの冬などいつもと少し違った年であったと思います。

さて、新入教室員を迎える桜の満開の時期は、何度あっても大変嬉しいものです。新年度にあたり巻頭言を述べます。大学では、菅沼龍夫学長、池ノ上克病院長、迫田隅男医学部長が誕生し、執行部が一新されました。また、本邦で初めての医獣医融合型の大学院が開講しました。医学部に関しましては、地域医療学講座が設置されドクターヘリの導入を含め、より一層の救急医療体制の充実が計画され、医学部の新たな地域枠などの推薦入学制度、コアカリキュラムの進展や国際交流で欧米アジアの大学との交換留学などが進んでいます。医学部附属病院は、中央診療棟が完成し手術室やICUが稼動しています。本年度は、外来新棟が5月にオープンし、病院全体の改築が開始されます。リハビリテーション部も技師が増員され、早期リハの充実や病診連携が可能になってきています。より患者

さんにとって利便性が良く最新の医療が受けられる環境になると思いますので私たち整形外科医師も最善の治療が受けられるよう努力する所存です。

教室に関しまして、新入教室員は、3名の新卒後臨床研修医を迎えることができ嬉しい知らせです。有難うございました。新たに開講しました博士課程の大学院にも教室から3名、教室外から1名、また修士課程にも1名入学し研究を開始しております。レジデントの先生には、希望に満ち溢れた新たな出発点となりましたので、夢と目標をもって診療・研究・教育にあたって頂きたいと思っています。臨床に関しては、まず専門医をとり、その後少しずつスペシャリティを考えもちろん研究に専念したい場合、大学院へ進むことも貴重な体験になります。夜間大学院もありますので活用してください。今後多くの教室員が増えますよう教室員のみならず同門の先生方のご協力もよろしくお願い致します。

新臨床研修制度により、研修医が中央の病院

へと集中したため、関連病院への医師の派遣が不可能となり、地方の病院においてはその地域の患者さんに不安な思いをさせることになっております。私たちも同様に苦境に立たされていますが、幸い教室・同門の先生方のご理解・ご支援によりなんとか乗り切ることができています。ご協力頂きました先生方に感謝致します。

本年度は「専門性とは」についてふれます。日本専門医制評価・認定機構の発足により、専門性(specialty)とsubspecialtyが問われるようになっていきます。確かに先人の先生方のように整形外科の様々な分野に関しgenerality(全ての分野)で、かつspecialtyという訳にはいかなくなっていますが、整形外科医が安易にsubspecialtyのみに特化しますと、様々な観点

からの思考が困難となり疾患に対し臨機応変に対応しにくくなると思います。是非、若いうちは積極的に様々な分野へ挑戦してほしいと思います。様々な知識や技術を習得することで病態の解明や治療の開発など新たな発想が生まれやすし、最終的に素晴らしいsubspecialtyを獲得できると思います。また、指導者になった際にも必ず役に立つと思います。

最後になりましたが、新たに入局していただいた先生方を加え、教室員の和を大切に、質の高い臨床・研究を実施し、学内外連携を推進し開かれた特徴ある臨床外科系講座として貢献したいと考えております。そのためにも、教室・同門の先生方のご指導・ご鞭撻を、これまで以上によりしくお願い申し上げます。

目 次

ご 挨拶	河 野 雅 行	
巻 頭 言		
新入教室員歓迎	帖 佐 悦 男	
メインテーマ ～私の楽しみ～		
私の楽しみ -花見ジョギング-	岡 田 光 司	1
私の楽しみ		
-自家果園による医食同源の探究-	押 川 紘一郎	3
私の楽しみ	福 田 健 二	5
私の楽しみ	柏 木 輝 行	6
私の楽しみ	坂 本 康 典	7
私の楽しみ	尾 田 朋 樹	9
-私の楽しみ(方)-	樋 口 潤 一	11
私の楽しみ	谷 畠 満	14
私の楽しみ	神 菌 豊	16
私の楽しみ	三 橋 龍 馬	18
緑に囲まれるしあわせ	長 濱 彰 宣	20
スキューバダイビングと水中写真の魅力	池之上 貴	21
私の楽しみ		
-「逝きし世」とiPhone-	山 口 和 正	23
医 局 長 挨 拶		
医局長挨拶	矢 野 浩 明	25
第 4 回宮崎整形外科医学奨励賞		
第 4 回宮崎整形外科		
医学奨励賞を受賞して	安 藤 徹	26

第4回宮崎整形外科		
医学奨励賞を受賞して	濱 中 秀 昭	27
同門会・医局行事		
H21年度医局旅行の報告	池 尻 洋 史	28
日本整形外科学会野球大会を振り返って	安 藤 徹	30
第52回西日本整形外科		
親善野球大会を振り返って	安 藤 徹	31
全国大会初勝利(2年連続3回目出場)		
日本整形外科学術集会親善サッカー大会	山 本 恵太郎	32
第17回同門会ゴルフ大会	渡 辺 雄	34
第12回同門会テニス大会について	弓 削 孝 雄	35
第5回マージャン大会報告	江 夏 剛	36
第1回同門会サーフィン大会	比 嘉 聖	37
第5回帖佐杯ゴルフ大会 優勝	関 本 朝 久	39
新入会員紹介(賛助会員)		
自己紹介	千代反田 泉	40
自己紹介	千代反田 晋	41
新入会員紹介(正会員)		
自己紹介	川 野 啓 介	42
自己紹介	永 井 琢 哉	42
自己紹介	宮 元 修 子	43
同門会総会議事報告		44
教室同門の研究業績(2008年度)		46
編 集 後 記		63



私の楽しみ ー花見ジョギングー

(医)岡田整形外科

岡田光司

今年の春は、エルニーニョ現象のためか天候不順で桜の満開が伸び伸びとなった。そのため開花から満開まで長持ちするので、ジョギングをしながら花見ができる期間が3週間前後と例年になく長くなった。ソメイヨシノ、ヤマザクラの花見には街を1～2時間走りながら遠くに淡白いピンクの桜花を見つけては近づいて、香、

色合い、枝・樹の形などを夫婦2人であれこれと品評し合う。自前の脚で複数の場所を転々と気ままにアプローチできるのがこの花見ジョギングの利点である。

市内の花見スポットとしては自宅近くの生目の支所・

公民館、大塚の長久寺、天神山、大淀川河川敷(約3Km)、公立大学・文化公園、平和台、垂水公園などがあるが、他にジョギングの途中でたまたま見つけた学校、公園、神社、お寺などの桜にも立ち寄る。距離的には通常10Km前後であり、昼もしくは夜のコースは天候や開花の

状況に合わせて思い立った時に選択する。一方、西都原、母智丘、天ヶ城、野尻(萩の茶屋)、国富町(写真①)など近郊の桜の名所には出かけられる時に車で直行し、広場をジョギングするが、この花見ジョギングは日頃のトレーニングノルマ(月間走行距離100Km以上)の達成にも一役を兼ねている。



2010年3月

国富町大坪の夕日に映える孤高の一本桜(ヤマザクラ)

2008年3月、たまたま訪れた京都の市内でそれまで馴染みのなかった、それこそ豪華絢爛な枝垂れ桜(写真②)や、歴史的な背景の中に佇む様々な桜に出会って言葉にならない感動を覚えた。それまでは花見とい

うと桜の下での飲み食いを楽しむという程度の認識であったが、この体験をきっかけに桜への意識が変わってしまった。翌年には再度京都を訪れ、哲学の道など市内を走り回ったが、これが花見ジョギングの始まりである。

「サクラ」は木花開耶姫(このはなのさくや

ひめ)にちなんだ名前との伝説もある。古来より咲いて散る風情に惹かれてきた日本人にとって「サクラ」は本当に特別な存在となっている。ここ最近、桜花の下で呼吸を整えながら「サクラ」を眺めつついろいろと思いを巡らすことが私の楽しみとなっている。今後であるが、

願わくば国内の各地(五ヶ瀬町三ヶ所浄専寺、北郷、市房ダム、吉野、東京、弘前・・・そして京都など)をジョギングして訪れたい。また、身近にはヤマザクラ、ソメイヨシノ、枝垂れ桜などを是非植えたいと考えている。



2008年3月
京都醍醐寺の豪華絢爛に輝く枝垂れ桜



私の楽しみ

— 自家菜園による医食同源の探求 —

押川 紘一郎

何事にも飽きっぽい私の目下のところの楽しみは、農業です。そのうち別の楽しみを見つけると思っておりましたが、毎朝、新聞の天気予報と週間天気予報に目を通すのが生活習慣になってもう6年になります。

年間の気候情報も、欠かさずチェックするようになり、気候変動に密接な農業が、すっかり生活の一部になってしまいました。

それまで、手術や神経ブロック治療の現場で、土をいじる事に抵抗があり、畑を耕す事等、思いもしまませんでした。しかし、世界的な農業汚染の広がりを見て、安全な野菜づくりを目指し、自分の食べるものぐらい、栽培してみようと考えました。

最初は、職員と焼き芋作ったり、近くの幼稚園の子どもたちを呼んで芋掘り会を楽しめるのではないかという、単純な思い付きと、少しの期待を胸に、サツマイモを植えることにしました。

サツマイモの苗は、農家の患者さんから無料で分けていただき、医院の空き地に、10mほどの畝を5つ作り、300本ほど植えました。梅雨や、真夏の干ばつにも負けず、すくすくと育ち、特別な手入れもしないため、芋の蔓と雑草の混じり合った草ぼうぼうの草原のような畑が出現しました。取り入れ時期もよくわかりま

せん。秋口、試しに畝の端を掘ってみると、ペットボトル大のサツマイモが、ゴロゴロと飛び出してきました。思いもよらない大豊作で、毎日焼き芋パーティーとなり、外来から病室まで、素敵な？香りに包まれました。

たべても食べてもサツマイモは減りません。公立大学の研究室や、友人、職員のお土産と販路？を広げ、サツマイモから抜け出す努力をしましたが、その後長期間、我が家は、考えられる限りのサツマイモ料理が続きました。

小さな空き地に苗を植え、多少の農作業と、落ち葉、日光、雨だけで、子どもの頃のなつかしい香りや味のサツマイモが手に入ったのです。農業の楽しさと、収穫の感動がきっかけとなり、本格的に押川農園をスタートしました。

その後、連作障害の配慮や季節にあった植え付けの選択等まるで関係なく、気の向くままに野菜を作り続け、毎日の生活は新鮮な野菜に囲まれています。

朝食のスープには、タマネギを丸ごと1個。人参、ピーマン、ゴーヤはミックスジュースにして、ジャガイモはポテトサラダに、夏のピールには、枝豆、空豆、オクラ、トウモロコシが最高です。エンドウや、ピーナッツは冷凍していつでも使えます。スイカはみずみずしくて、

水菓そのもの。カボチャ、キュウリ、茄子、トマト、レタス、ネギ、ししとう、しょうが、里芋、ブロッコリーと1年中切れ目がありません。

完全無農薬、肥料は医院周囲の落ち葉を冬に集め、堆肥にしたものです。現在4種類のジャガイモが大きく枝を伸ばし、空飛ぶタマネギが食べごろに、エンドウ豆も花が咲きました。大根、人参、枝豆は芽のでる直前です。間もなく夏野菜の苗が届きます。

夕方、職員
の出入口に野
菜売り場よろ
しく、並べて
おきます。独
身職員は、レ
タスやトマト
等料理の必要
がないもの、
家族持ちの職



「2階病室ベランダから見た、押川農園」

員は、キャベツ・白菜・ネギ等、鍋物関連が好評のようです。翌朝すっかり無くなっているのを見るのも、楽しみのひとつです。

農作業は、夜8時ころから、薄暗い月明かりの中で耕しています。木立に囲まれた夜の畑は、とても落ち着き、つつい深夜になってしまいます。隣の消防署から不振な行動に思われていたようですが、日曜日、小さな耕耘機を使用しているのが分かってから誤解が解けたようです。

私が畑にでると、病室のベランダに入院患者さんが見物に現れます。患者さん（特に農家のおばあちゃん達）から、畝の作り方、剪定の仕方、そして、鳥の防御の方法まで大きな声で細かな指示が出ます。まさに農業指導講習会です。

耕耘機のエンジン音がうるさくないかと心配しましたが、入院患者さんにとっても気分転換のよいリハビリになっているようです。

休日の農作業中、間違っ農園に入ってこられた入院面会の方から、「おじさん、病室の入口はどこね」とよく声をかけられます。丁寧にご案内いたしますと、たいていは10分もしないうちに、「先ほどは失礼しました」とあわてて戻って見えます。おそらく入院患者さん

から私のことを聞かれたのだと思います。それをご縁に、ひとしきり農業談義をして、サツマイモ、キュウリ、レタス等その日の収穫物を土産に差し上げま

す。これも私の楽しみです。

自然を相手の素人農業は必ず収穫出来るとは限りません。台風ひとつで、すべての努力がみずの泡です。また、せっかく育った作物が、狸やアライグマ？やカラスに食べられてしまう事もあります。不思議と愉快な気持ちになってしまうのです。たった一人の手作業零細農園は、種まきから取入れまでのすべての課程が楽しみと思っています。

最近、冷暖房、オーディオ、防音完備の大型スーパートラクターで耕している夢をみました。さらなる医食同源を目指して、医農院に転身する日も近いようです。



私の楽しみ

医療法人社団 ふくだ整形外科
福田 健二

きざかもしれないが、私にとっては人生そのものが、楽しみといえる。まず仕事楽しい。外来で患者さんを診る事も楽しいし、患者さんと冗談を言ったり笑顔で挨拶したり、つたない知識と経験を総動員して頭を悩まし、診察する事も楽しいと感じるし、仲間とわいわい言いながらするテニスも楽しいし、たまに妻と映画を観に行ったり、旅行に行くのも楽しいし、洒落たレストランや美味しいお店を見つけて舌鼓を打つのも楽しいし、1人ウクレレをつま弾きながら自分の世界に耽るのも楽しいし、息子とバカ言いながらゲームに興じるのも楽しいし、ネットで他人のブログを読んだり、情報収集するのも楽しいし、HDに取りためた映画を見るのも楽しい。基本的に楽しい事しかしていないのかもしれない。

その中で一番楽しいのは何かと聞かれれば、やはり読書。よく「無人島に何か一つ持っていくとしたら何を持っていきますか？」という質問があるが、私の場合は迷わず「本」と答える。ジャズをBGMに、コーヒーをすすりながら、読書をする事は私の至福の一時である。とにかく余った時間があれば読書をしている。

学生の頃、決して勉強が好きではなかったし、文学青年という訳でもなかった。それが、いつの頃からかはっきりしないが、活字なしには生きていけない程、読書は生活の一部になっている。

歴史、小説、経済、宗教、自己啓発、時事、語学、世界情勢、雑学と何でも面白そうな物は手当たり次第読む。自分の机で読む事もあるが、居間で寝っ転がって、自宅のトイレの中で、医局の机で、医局のトイレの中でといろんな所が

読書場所となる。それぞれの場所で全く違うジャンルの本を置いているので、居間で小説を読んでいてトイレに行ったら歴史の本を読み、病院の医局では雑学の本を読み、医局のトイレでは宗教の本を読み、旅行や学会出張の機内や車中では単行本を読みという具合である。だから一日にいろんな種類の本を同時に読んでいる。なぜだか自然にそうなったのだが、その方が多くの本を読めるし、飽きないで済む。

本の購入も昔と比べて便利になった。書店で立ち読みしながら面白そうな本を探すのも楽しいが、最近、大きな書店が近所になくなってきたので、アマゾンに注文したり、セブン&アイに注文している。特に入手困難な本は書店に注文するよりネットで注文した方が早くて便利である。また、セブンイレブンが自宅近くにあるので、注文した本をそこで受け取れば送料も無料でポイントもつくので重宝している。早ければ注文して3日で本を受け取れる。

ただ最近、老眼が出始めて近くの方が見えにくくなった。遠近両用眼鏡を作ったが、どうも具合が悪い。眼鏡をはずして裸眼で読んだ方が見やすいこともある。目も疲れやすくなった。

しかし、そんな事は私の知的好奇心の前では小さな障害でしかない。以前は書齋が自宅の2階にあったので、本棚の重みで床が抜けるんじゃないかと心配していたが、最近、平屋の家を新築して書庫を作ったので安心である。これからの残された人生の中で、何冊の本を読めるか、何冊の良書に出会えるか判らないが、多分死ぬまで本を読んでいるだろう。



私の楽しみ

柏木 輝行

仕事が終わると買い物に家事、子供の塾や習い事の送迎、学校や地区の役員会や部活の集まりと、時間に追われ、飲みに行くのも1週間か2週間に1回です。時間があればビール飲んでポーっとしたいのですが、習い事を週に三つ頑張っています。

一つは生け花です。病院のスタッフの教育のために先生を依頼して始めたのがきっかけで、もう10年になります。以前から剣道や柔道、茶道など日本の「道」というものを何か窮めてみたいと思っていたのですがどれも機会がなく、でもまさか華道に接するとは思っていませんでした。生け花というのは真・副・体という基本型から習い始めますが、この型は数学的な割合が大事で、どちらかというと理系の分野のような気がします。数年前、池坊の準教授になり今年2月に『華道家元池坊教授』看板をもらいました。柏木と生け花というのはかなりイメージが合わないようで、家に来たほとんどの人がお花を見て不思議そうな表情になり看板を見て全員がびっくりします。最近は教室に行けないので先生に自宅に来てもらって指導してもらっていますが、もうこれで終わりかと思いましたがまだ修行は続くようです。いつか自分流の生け方をあみだせたらいいなと考えています。

もう一つはテニスです。ラグビーに全く興味を示してくれない長男、次男とソフトテニスを時々していますが、高校になって硬庭を始めた長男に対抗するためにテニス教室に入りました。ラケットが似合わんと友人に言われながらも頑張っています。毎日の筋トレで力があるのでボールはどこまでも飛んでいきます。コートに打球

を見てもらって「いい音ですね。スカッとするでしょう」といわれますが、枠の中に入らずにスカッとするわけがありません。息子は2日か3日でラケットのガットが切れ、高校の授業料よりはるかにガット代がかかります。しかし、なかなか切れない親父のガットをみて「よっぽどの外れなうちかたなんじゃない」と馬鹿にされます。もう一年になるのに切れないので、真ん中を机の角でこすって切ろうかと考えています。

もう一つはピアノです。娘はスポーツにあまり興味がなかったため父娘の共通の時間を作ろうと思い二人で始めました。もう6年になります。やる気、年齢的な問題は別にして楽器に関する才能が無いということに確信を持ちました。娘は少しずつ進みますが、親父は未だに基本練習中心です。「先週のほうがじょうずでしたね」とか「先月はできたのに」と先生に言われ、上達と減退の悲しいバランスに苦しんでいます。ただ、継続するという能力だけはまあまああるので何曲かは完成し、笑われながら発表会にも出ました。面白いことにピアノの練習で左手を動かすのは手術に影響があり多少左手の動きが良くなったような気がします。今、Billy JoelのJust The Way You Areという曲を練習していますが完成目標は年末（来年末？）です。

あと数年で子供たちに手がかからなくなった時、この三つをもっと楽しめるようになるかもしれません。自分の自由な時間を好きなように使って、学会活動を再開して、さらにビール飲んでポーっとする時間を思い描くのが今の私の楽しみです。



私の楽しみ

坂本 康典

このたび教室から「私の楽しみ」というテーマで寄稿を依頼され、「私の楽しみ」って何だろう？と考えてしまいました。

教室を退局し、開業させていただきまして7年が経ちます。小学1年生だった長男もはや中学1年生となっております。

それまでは病院を移動するたびにその土地に関連した「私の楽しみ」があったように思われます。

医者になって2年目の医師会病院では、当時、整形外科は2人でしたので私がファーストオンコール（鳴るとうるさいポケベルでした）でしたが、まず呼ばれない夜中の2時から他科の先生たちや準夜の看護師さんたちと飲みにていくのが楽しみでした。

東京では（麻酔科で関東通信病院に行っていました）病院が五反田にありましたので、東大や横浜国立大の研修医の先生たちとの仕事の帰りの五反田ゴールデン街、六本木での勉強会が楽しみでした。

川南や諸塚では病院関連の人たちの家に行っては酒盛りをするのが楽しみでしたが、熊本や都城のような都会ではパチンコ（パチスロ）にはまってしまいました。現在と違って昔は出る台では二十万や三十万は出ましたので、平日、

休日と通っていました。

熊本や西郷ではオートバイが私の楽しみでした。知る人ぞ知る「バリバリ伝説」を読んだ人、「汚れた英雄」を映画で見た人は必ず感化されたと思います。それまで二輪免許を持っていなかった私は教習所が近くにあったため大型免許まで取ってしまい阿蘇や入郷地区のワインディングロードを走っていました。

串間では海が近いこともあって魚釣りにはまってしまいました。朝5時の天気予報を確認して前日から解凍しておいた撒餌をもって磯場や防波堤にでかけてました。釣り用品もどんどん増えていきました。

ところが現在では一緒に飲みに行く看護師さんもなく、五反田ゴールデン街、六本木が近くにあるわけでもなく、パチンコも規制がかかり、ワインディングロードや海が近くにあるわけでもないためオートバイと釣り用品はどこかに消えてしまいました。

現在、私の楽しみといえばゴルフです。家から車で3分のところにゴルフ場があり、だいたい日曜日にはそこにいます。6年前からレッスンプロに習っていますが、なかなか上手くなれません。「半年でシングルにしてあげますよ」あの言葉はなんだったんでしょうか。最近では

そのプロと麻雀をしています。親の遺言で麻雀には手を出すなどと言われていたそうで役も知らない絶好のカモとなっています。そのゴルフレッスンに私より1年前に入った方がいるのですが、私に「兄弟子と呼べ」と言っていますがゴルフの腕前のほうは習い始めて1年後には「弟弟子」となっています。その人からよく夜の10時ごろになると「飲みにおいで」と電話が鳴ります。その人は家に帰りがたらず夜中の3時まで連れまわされたりします。皆さんも夜の街で私とすれちがったら「ああ、可哀想に。また連れまわされてるんだ」と思ってください。今ではゴルフを通じていろんな方と知り合いになること

ができました。

最後に「100叩きはゴルフをおろそかにし、90打ちは家庭をおろそかにし、80打ちは仕事をおろそかにし、70打ちはすべてをおろそかにする」という欧米の格言があります。

以前は日曜日にゴルフだと妻や子供たちはブーブー言っていました。この頃あまり言われなくなりました。すこし焦りを感じまして子供に勉強を教えるようになりましたが、厳しすぎるせいか子供たちは私に教わりたくないとい極めて不評です。しかしながら私にとってはこれが一番新しい「私の楽しみ」となっています。



私の楽しみ

尾田 朋樹

さて、「私の楽しみ」というテーマを頂いた
ので思いつくまま書き綴ってみた。

一口に「楽しみ」と言ってもいろいろで、ま
ず頭に浮かぶのは家族や自分の将来、そして趣
味（道楽）、仕事などが順当であろう。まあ、
道楽を除けば「不安」と裏腹でもあり、単純に
「楽しい」と言い切れないところが難しいとこ
ろである。

本題に入ろう。私は結構多趣味である。傍か
ら見ると「道楽者」の私も、ご多分に漏れず常
に「言い訳」は用意してきた。誰への言い訳か？
無論、家族への言い訳である。はっきり言って
私は「物欲」が強い。限定品や高額なビンテー
ジ物に興味がないのが救いだが、私にとって物
欲こそが「楽しみ」の原動力であるのは間違い
ない。

ご存知の方もいらっしゃるであろうが、例え
ば映像機器関連の趣味が高じると電源ケーブル
やコンセント、ブレーカーの素材にまでも「拘
る」といった具合である。車好きであっても「趣
味はドライブ」と言えば聞こえが良いが、私の
場合「特殊な車輛」が好きである。繰り返すが
ビンテージ趣味は全く無くミリタリー趣味も無
い。様々な制約の中にあってもメーカーや技術
者の意地やプライドをかけて製造されたこだわ

りの「工業製品」が大好きなのである。大口徑
短焦点レンズ、何のことかお分かりだろうか？
通称「明るい短玉」と呼ばれるこれらの製品は
「魔性の魅力」を持っている。キラリとした妖
しい輝きを放つレンズ（前玉）の美しさ、手に
ずっしりとくるその存在感、マテリアルの質感、
高度な細工を施されたこのガラス玉が写し出す
素晴らしい瞬間を「妄想」する行為もまた極上
の楽しみである。私の場合、物欲は「機能」を
伴ってこそ成り立つ。単なる装飾品、美術品に
は興味が無く、あくまでも「道具」に対する想
いである。さあ、ここからが言い訳である。決
して無駄ではない、贅沢なんだ、みんなでドラ
イブに行つて、思い出の写真を撮りためて、ホー
ムシアターで映画を鑑賞しよう、ほら感じてご
覧！このエンジンの鼓動、内燃機関のひとつの
完成形だよ、ほら見てご覧！このレンズの美し
さ、機能美のひとつの到達点だよ、ほら手に取っ
てご覧！この電源タップ、愛らしいだろう、ハア、
ハア。

実は自分への言い訳だと気付くまでも無く、
最近は何物も一巡し私の道楽はローテンション
しながら平穏にかつ細々と回っていた。大きな
転機が訪れたのは2007年の春である。

五十路を意識するようになった私の中に、漠

然とした焦りが芽生えていた。最近、「ワクワク、ドキドキ」しない。悩んだ末に行動した。絶対無理だと思っていた学生時代への体重回帰である。数年前、自転車に凝って週末に一日50-60km走り回っていた時期がある。肺活量が増え持久力がつき、週一回がノルマのテニスでもその効果は歴然であった。しかし体重は変わらなかった。ならばカロリー制限しかない。食べなければエコ(economy)だし一石二鳥である。とりあえず昼食を汁物と副食(サラダ、漬物など)のみとした。効果はすぐ現れた。調子に乗って「夜10時以降は水だけ」の誓いを立てた。

「空腹の時にこそ脂肪が燃える」「太ったまま餓死はしない」という根拠のない信念で、お腹をグーグー鳴らしながら寝る事に快感を感じる境地にまで自分を追い込んだ(以下、略)。1年間で12kgの減量に成功した。一ヶ月平均でちょうど1kgのダイエットである。周囲からは驚きと賞賛をもって好意的に受け入れられた。メタボ基準を軽くクリアし、身も心も軽くなり、患者さんのウケもよく、「30歳を過ぎたら自分の容姿に責任を持つ」という教訓を遅ればせながら実践すべく「お洒落」というあらたな楽しみも増えた。本当に嬉しかった、毎日が楽しかった。でも十分ワクワクはしていたがドキドキはしていない。焦りはいつしか野望へと変わっていた。悩み抜いた末に決断した。自動車学校で若者に混ざっての「大型自動二輪免許」取得である。動機は単純で、渋くファッションブルにバイクを乗りこなす五十路に憧れたからである。学生時代には中型バイクに乗っていたが、2度目の転倒

を機にバイクを降りた。覚悟はしていたとはいえ20年以上のブランクと年齢によるバランス感覚、運動能力(特に俊敏性)の衰えは正直、惨めなものであった。教習中には「恐怖」すら覚える事もあり、2日目の教習で「やっぱりやめよう」とまで考えた。教習料が前払いだったことも幸いし、引くに引けない私はただひたすら平常心の維持に努めた。その甲斐あってか教習は順調に進み、緊張がピークの中で行われた卒業検定に合格した時は本当に体が震えるほど嬉しかった。でも、「ドキドキ」はもう二度と御免である。

免許を取得してからそろそろ1年、愛機のオドメーターは8,000km強を刻んでいる。確実に乗った距離の分だけバイクに体を預けられるようになっていくのが実感できる。同世代のナイスな仲間も増えて週末の天気予報と掲示板のチェックが日課になった。さあ、今度の休日は何処へ走りに行こうか。とりあえずは洗車してガソリンを満タンにして、もちろん家族の御機嫌伺いも大切だ。「フェリーに乗って泊りがけツアー」なども是非実行したい。道楽者と後ろ指をさされようが、当分の間「私の楽しみ」は尽きそうにない。





－ 私の楽しみ(方) －

朋詠会 獅子日整形外科病院
樋口潤一

同門会誌に寄稿依頼で、私の楽しみというタイトルでと言うことであった。今の私にとっての楽しみとは何だろうかと考えながら、やはりサッカー(スポーツ)というものを思い浮かべてしまう。1990年(イタリアワールドカップの年)に整形外科に入局して20年目を迎える今年、整形外科医になって6度目のワールドカップ(南アフリカ大会)が開催される。サッカーは私にとっての楽しみの一つであるが時とともにその楽しみ(方)がいろいろと幅広くなってきた。一つのスポーツでいろいろな楽しみ方をしていることを紹介してみたい。

1) プレーする楽しみ

小・中・高・大学とプレーを続けてきていたが、一時期定期的にプレーする機会が減っていた。一昨年から宮崎市のシニアリーグのチームに所属し、月に一度のペースでのリーグ戦に出来る限り参加するようにしている。チームの中では若手の方なので60分フルにピッチ内を走り回らなければならない。他のチームの試合で人が足りない場合には30分3本、4本出番があることもある。幸い、もともとスピードやパワーで勝負するタイプではなかったのでそこそこ思うようにプレーできている(と思う)。今年は県のシニアリーグのチームに誘ってもらっ

ていてこちらは日本スポーツマスターズ大会(40歳以上の全国大会)を目指す(宮崎県は二年連続全国大会出場中)のチームの母体になっている。2004年41歳になった年に一度マスターズ県選抜でプレーすることがあり九州予選を突破し全国大会への切符を手に入れたのだが、その当時帯同していたU-19代表のアジアユースと日程が重なり全国大会には出場できなかったこともあり、できれば人生初の全国大会に出られるようにプレーできる身体を作っていかなばと思っている。

サッカーは自分でプレーして初めてその奥の深さがわかる部分もあるし、年を取った分の駆け引きなどそれなりに楽しめるものである。

2) 応援する楽しみ

我が子の応援というものもこの数年の楽しみである。長男(1998年生まれ)の幼稚園からサッカーの応援は始まった。今年卒園する次男(2005年生まれ)まで9年間幼児サッカーに関わった。年少のころは鯉のえさやりのような(ボールに群がる子供達)が年長になるとボールを止め、顔を上げ周りを見てドリブルやパスをするのを見て成長を感じている。

長男の方は昨年夏の全日本少年サッカー大会(Jビレッジ)にも出場し家族全員で福島まで



全国大会(2009年8月 福島県)

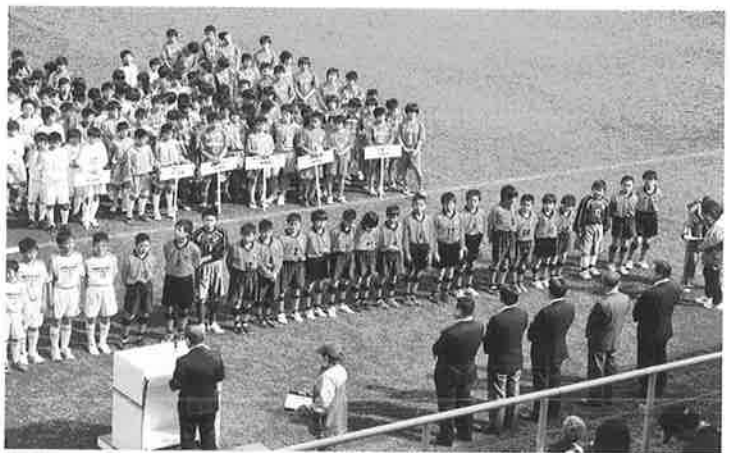
応援に行き、コンサドーレ札幌や川崎フロンターレのジュニアチームとも試合をした。全国大会では我が子のチームだけでなくいろいろな全国のチームを見ることも出来た。また3月には九州大会にも出場し3位に入り6年間で締めくくった。県内の三つの公式戦すべてを優勝しそのたびに祝勝会でおいしいお酒を飲ませてもらった。

ただ見る側としては基本的にはプレーがうまくいくとか、ミスしないとかではなく怪我人が出ないことを祈りながら落ち着いて冷静に試合を見ていた。が、全国大会の県予選の決勝戦だけはこれまでにないハラハラさせられた試合だった。

4月から6年間また次男のサッカー漬けの生活が始まる。長男はゴールキーパーで大事な試合の度に母親を心配させていた(試合を見ていて気分が悪くなることもしばしば)ので次男にはフィールドプレーヤーで気楽に試合が見られるようにして欲しいと願う。

3) 現場にいる楽しみ

1998年国体の宮崎県少年選抜チームに帯同して以来、様々なチームに帯同しジャージを着て現場で仕事をしてきた。国体の帯同は昨年からは若手(小島岳史先生)をお願いしているが、日本代表やJFLホンダロックの帯同はいろいろな方の支援を頂きながら続けさせてもらっている(獅子目賢一郎先生ありがとうございます。)。ホンダロックでは国体に一緒に行った選手達がメンバーにいて長い選手では10年以上のつきあいになっている。2002年からはユース年代の日本代表の仕事もさせていただいて2006年オシム監督になってから現在の岡田ジャパンまでA代表の仕事も経験させていただいた。身近で選手を見ることが出来るという事もあるが、特にユース年代から関わっている選手の状況は気になるところでJリーグの初出場や初ゴールのニュースを見るとうれしくなるし、ケガのニュースが流れると心配になることもある。宮崎にいるとキャンプで宮崎に来るチームもありキャンプ期間中の週末は可能な限りいろいろなチーム



九州大会(2010年3月 熊本県)

を見に行く事にしていて、そこで元気な顔を見ることが出来るのもこの仕事をしている楽しみでもある。

4) その他の楽しみ

現在私が持っている資格の内に日本サッカー協会3級審判とC級コーチがある。審判の方は研修医の頃に中学・高校の先輩（中学教員）に審判の手伝いに呼ばれている内にとった（とらされた？）もので今でも資格だけは保持している。十年程前までは中学校の大会に審判で呼ばれて行って、その頃審判をした選手がホンダロックの選手にいたり、Jリーガーになっていたり、整形外科医になっていたり（日吉優先生）と意外なところで繋がっていたりするものもある。年一回の審判更新講習と子供の試合の審判の手伝いは続けている。スポーツドクターという仕事をしているなかでこの様なつながりは意外と大事だったりするような気がしている。

指導者資格は一昨年5日間の講習・実技と試験を受けてC級コーチとなった。高校生の頃中学生のコーチをしていたことがあり、指導者への興味はあったが代表チームに帯同してミーティングを聞いたり、ベンチに座って試合を見たりしているうちに指導者の資格を取ってみようという気になっていた。なかなか日程が合わなかったがやっと受講し資格を得ることが出来た。受講してみてサッカーの見方が大きく変わったわ



けではないがこれまで考えていたこととは違う見方も出来るようになりサッカー（選手）を見る楽しみが広がったと思う。コーチの資格はS級（Jの監督になれる）A級（JFLや大学、高校生）B級（高校生や中学生）C級（U-12を中心）D級とあり、Jの監督を目指すにはまだまだ道は遠い。

5) 整形外科医としての楽しみ

日々の仕事の中にもサッカーに関わる楽しみはある。サッカー関係者との輪が広がるに従い、いろいろな選手の診察の依頼を受ける。鹿島アントラーズで活躍するI選手は中学時代の指導者が私の先輩であった関係で、野崎東病院に勤務していた頃時々診察に来ていた。その後鹿児島の高校に進んでからも調子が悪くなると宮崎に帰ってきては診察に来ることがあり、その後の成長も含めて親のような気持ちで見してしまう。また我が子の試合だけではなく、中学校や高校の試合を見に行くこともあるがその時に診察に来ていた選手が元気にプレーしているのを見ると安心するし、笑顔で挨拶してきてくれたりすると嬉しくなる。残念ながら私が関わった選手の中でスポーツドクターになった選手はいないが中学や高校の先生達との話の中で、我々がやっているような仕事に興味を持ちその道を目指したいという子供達もいると言う話題が出ることもある。そういう話を聞くともうしばらくは頑張らなければならないと思うとともに、この仕事のおもしろさを若い先生達にも伝えられればと思う。一つのスポーツでこれだけ楽しめると思えばそれに楽しいものである。



私の楽しみ

谷 島 満

“私の楽しみ”は色々ありますが、とりあえず一番長く続いていて、よく考えたらほぼ毎日楽しんでいるなあと思ったものは、“読書”です。

私は以前は全く本を読まない人でした。それが、医師になって3年目の麻酔の研修で東京に行った時から、私の読書人生が始まりました。

東京で最初に読んだのは、忘れもしない“リング”です。そうです、貞子がテレビから出てくるヤツです。あの時は読んだ事を真剣に後悔したくらい、ムチャクチャ怖い本でした。

それから読書にハマってしまい、本屋に行くと10冊くらい適当に本を選び、暇な時間があれば本を読む事を繰り返しています。いまだに、週に2冊程度のペースで読んでいるので、年間100冊以上の本がどんどん家に溜まってしまい、結構大変です。

そんな私が今まで読んできた本で、楽しかった本を色々なジャンルからいくつか挙げてみたいと思います。

① 深夜特急（沢木耕太郎）

著者が若い時に乗り合いバスだけでアジアからヨーロッパまで旅をする旅行記です。

貧乏な若者が色々な国で貴重な体験をしますが、とてもロマンがあって、大好きな本です。年に1回は読み返してもまだ面白い、とて

も貴重な本です。

② 楊家将（北方謙三）

中国の宋の時代の英雄“楊業”と7人の息子たちの戦いを描いた歴史物です。

北方謙三が描く“男”がとにかく格好良い！今まで歴史物は好きでは無くほとんど読まなかったのですが、この本を読んでから色々読むようになりました。

この後、“血涙”“水滸伝”“楊令伝”と続きもあります。

③ サバイバル（さいとうたかお）

大地震により日本が沈没してしまい、孤島に残された少年が一人で（旅の途中で出会いがありますが）生き抜いていくマンガで、最近新しく文庫版が出版されています。

一人で小屋を作ったり、武器を作ってクマと戦ったり、食べ物がない時はミミズをゆでて食べたり、旅の途中で好きになった女性が死んでしまったりと、ものすごい体験をする少年の物語です。この漫画を何度も読み返すだけでも、自分にサバイバルな知識が身に着く様な錯覚をしてしまいます。

④ BOX（百田尚樹）

高校生ボクシング部のスポーツ青春ものです。スポーツ青春ものの本って、気が抜けたような

本が多いのですが、これはなかなか引き込まれる本でした。

最近映画化されたようですが、本のほうが絶対おもしろいと思います。

⑤ 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN (安彦良和)

みなさん御存じ?の“ガンダム”のマンガ本です。現在21巻だったかな?

私はガンダムの大ファンなので、テレビ版も映画版もDVDで持ってますが(実は最近ガンブラも作ってます・・)、これはテレビ版をより詳細に描いたような感じで、2倍くらいに話が膨らんでいて、ファンにはたまらない本です。憧れのセイラさんの入浴シーンも何度も出てきますので、必見です!

⑥ マリファナ青春旅行 (麻枝光一)

著者が若い時に世界中を旅して、色々な“危ないクスリ”を体験した話です。

マリファナから始まりコカイン・ヘロイン・ハシシ・LSD・幻覚サポテンなど、それぞれどんな風にトリップするのか、また警察に捕ま

りそうになった話などがユニークに描かれており、とても面白いです。

著者いわく、“マリファナは百利あって一害なし”との事です。

⑦ 食堂かたつむり (小川糸)

これは、一番最近読んだ本の中で感動した本で、これまた映画化されています。

恋に破れた娘さんが声を失ってしまい、長い間帰ってなかった故郷に戻り、そこで1日1組だけのためのレストランを営む話です。

途中でびっくりするシーンがあるのですが、おもわず大声が出てしまいました。

ずっと仲が悪かったお母さんとの親子愛が描かれていて、最後のほうは号泣です。

<結語>

とまあ、語りだしたらキリがないのでこの辺でやめておきますが、最後に一言。“いやあ、読書って本当にいいものですね!それでは、さよなら、さよなら、さよなら。”



私の楽しみ

かみぞの整形外科

神 菌 豊

2年前のことである。確か6月だったと思う。私は友人と釣りに出かけた。行く先は宮之浦という漁港で2人はそこで落ち合い、瀬渡しといわれる船で沖に浮かぶ小さな数メートル四方の岩礁に渡してもらった。雲の合間から夕日がすぐ後ろの都井岬に翳りかけている。夜釣りである。狙う獲物はシブダイといって体型は鯛に似ているが、明かりで照らすと鮮やかな金色で体部のやや後ろに白い星がある。シロホシフエダイとも言うらしい。大きいものは4キロほどになり、その引きはトルクに溢れ、あっという間に根にもぐられてしまうため、置き竿はできない。ケミホタルという赤く光る浮きが海中に消えた瞬間、思い切りよく竿を立てるのである。次の瞬間、根掛かりしたかと思うほど相手は海の底のほうで耐えているが、やがて縦横に躍動し、根にもぐろうとする。それを渾身の力で手繰り寄せる、これがシブダイ釣りの醍醐味である。その日、空は曇ってきた。我々は磯の上で戦いの前のビールを飲み、少し暗くなってから釣り始めた。予報では一晩中、曇りで降っても弱雨程度で降り続くことはなからうと高をくくっていた。果たして9時頃になって小さい雨粒が落ち始めた。風はなく、涼しいくらいで釣りに影響はなかったが、かといって本命は釣れない。

そもそもシブダイの釣れる時間はおおむね真夜中でそれまではメジナやイスズミといった魚と葛藤することで時間をつぶすことが多い。イスズミというのは大きいものは4-5キロにもなり、引きが強いので釣るには面白いのだが、臭くて食えないのである。その日もイスズミの放流を繰り返していたが、やがて雨がひどくなってきた。さらに悪いことに風も出てきた。それまで静かだった海が荒れ、雨とも波とも知れない水しぶきが顔を打つようになり、体が冷えてきた。雨衣は準備していたが、雨どころか風をしのぐ岩陰すらなく、6月というのにその寒さは耐え難くなってきた。暖を取るため、火を起こそうとしても風雨にかき消されてしまう。釣りをやめて帰ろうと思っても周りは暗黒の海である。あきらめて気を紛らすために釣るしかないのだが、アタリもなくなり、ただ寒い。

その時であった。海とも空中ともわからない闇の中に眩しい光の帯が現れた。青白いその帯は茫洋として左から右側に動いている。遠いのか、近いのか、海上なのか、いや、空中に浮いているようにも見える。空を飛んでいると思った。釣りに慣れた友人もしばらく見ていたが、理解しがたい光景だったのだろう。“あれはなんだ。”と聞いてきた。わからなかった。彼は、

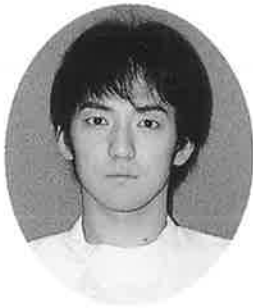
無言になり、それをあえて無視するかのように釣る動作を続けた。その後姿には恐怖が感じられた。どうすることもできず、私も無意味に竿を振り続けた。光はさらに大きく、眩しくなり、私は観念した。

その時、光の中に人影が見えた。渡船であった。闇の中でサーチライトに照らされていたこ

とに気づき、我々は安堵した。他の釣り客が風雨に耐えかねて船頭に連絡したらしい。

助かったと思った。時計を見ると午前3時であった。

それ以来、私は暖かい寝床の中で雨音を聞くと楽しい気持ちになるのである。



私の楽しみ

三橋 龍馬

私の楽しみという題で原稿依頼を頂きました。しかし一寸思いを巡らせてみましたが「楽しみ」が浮かばず、実は自分はいつになりかけていたのではと心配してしまうような精神状態で文章を書き始めてみました。以前であれば①野球②サーフィン③ゴルフなど書いたのですが、①野球に関してはこれ以上の技術上達は望めず、また半ば職業と化している現状では重圧との戦いであり、楽しむどころではございません。数年前に予選通過をかけた試合でサヨナラホームランを打って以来楽しいことはありません。②サーフィンに関しても現状維持が精一杯の老朽化した30過ぎの身体であり上達は望めない上に、勤務地へ向かう通勤路で頭オーバーの極上の波をうらめしい目で見ながら通勤するのが嫌なので、早起きして日南海岸で仕事前にサーフィンし老朽化した身体に鞭打つ状況であり、昨年、完璧なチューブに入って以来楽しいことはありません。③ゴルフに関しては数年前に初めて回ったハーフのスコア51をなかなか切れず最近やっと18Hで100を切ってゴルフ熱に火がつき、当番の日に救急車が来て当直の先生に呼ばれるまで日南の打ち放題の練習場で打ちまくった結果、手にまめができて手術の手洗いの際に涙が出るほどしみてしまい楽しむどころではござい

ません。右隣の机の同僚の整形外科医（専門：外傷、ゴルフ）も公式戦でのパッティングのプレッシャーと某政治ブログを読み漁り、今日の政局と偏向報道を憂いたためか、胃をやられピロリの除菌に急がしく、素人同然の僕のティーチングプロになってくださる余裕もなく、手術室の大鏡の前で透視防護服をかけるハンガーで華麗なスイングを僕に見せ付けるばかりで、僕のゴルフの上達は見込めない現状です。（同先輩のおかげで政局についての知識はかなり深くなっておりませんが、、、）また日南で3年以上ゴルフをすると難知性の特定疾患（シャンク・イップス症候群）に罹患し、診断確定されると2年間はコースを回ることを許されないという症例報告もあり、現在闘病中（リハビリ中）の某先生を見ているとゴルフを「楽しみ」とするのは非常に危険であることを痛感します。

改めて「楽しみ」は？と考えてみると、やはり一寸考えただけでは出てきません。しいて言えば、今年専門医試験を受験した関係で、専門医試験に向けて行った勉強でしょうか？スポンジのように知識を吸収していることを実感し、至福の時間でした。しかしそれも無事合格してしまったので、現在は試験勉強する必要がなくなってしまい「楽しみ」が奪われてしまいました

た。こんなことなら試験に落ちて、もう2、3回受験したほうが「楽しみ」が増えてよかったのかなとも思いますが、受験料も馬鹿にならず（諸費用込みで20万弱）、そもいってられないので、どうせならと思いがんばって勉強を「楽しん」だ結果、トップ合格（宮崎県内受験者対象、あくまで推定）をしてしまいました。そして試験が終わって数ヶ月が過ぎ、十分な知識をすったスポンジが日南の激務により搾られ、知識をばたばたと周囲に、溢れさせている毎日です。スポンジは知識を吸う前の状態に近づきつつあります。専門医のプレートが届く頃にはスポンジはカラッカラに乾燥していることが予想されます。大丈夫でしょうか？というこの会誌が発行されて皆さんのお手元に届く頃には間違いなく受験前の状態に戻っていることだと思います。そう考えるとお勉強もあまり楽しいことではなかったようです。

そういえば他にも「楽しみ」がありました。ありきたりですが子供の成長です。最近では言葉も覚え、仕事から帰ると玄関で抱きついてきて、「パパ、くさい」と言えるようになりました。バラバラ骨折が多い日南に来てから、嫌な汗をかき手術を数多くさせていただき、手術の腕も上がった結果、術中出血量は減りましたが、それに反比例して術中出汗量は増えているようです。また休日に学会や研究会に行こうとすると「パパどこ行くの？海？ゴルフ？どっちも？」と言えるようになり、わが子はかわいい次第です。県南の大きな救急外傷は県立日南病院に搬

送されることもありどうしても家を空けることが多く、毎朝、家を出る時には娘に「今日帰ってくる？」といわれながら仕事に励んでおります。ここまで読んでくださった皆様は、お前、結構楽しんでいるじゃないかと思っている方もいるかもしれませんが、実際そうなのかもしれません。ものは言いよう考えようなのです。

最後になりましたが、「楽しみ」を思い出しました。やはりバラバラ骨折を完璧に整復して手術終了し、疲れ果て、手根骨の一部を切除済みの、右となりの机のゴルフバカの先輩と二人で、ビールで乾杯しようとしているまさにその時に、救急車搬入の知らせを電話で受け、呼び出されていなくなった先輩が残っていたビールを飲み干すのが一番の「楽しみ」かもしれません。

※この文章を読むと、現在3人体制の日南病院を4人体制に戻すことで私の楽しみが減ってしまうのではと心配して下さる優しい先生方がいらっしゃるかもしれませんが、4人体制になっても私の楽しみは減じることはないと思います。

（むしろ楽しみが増えるのではと思います）また、私の左となりの整形外科医（専門：関節外科、コーヒー）は3人体制になったことで1年15gの減量に成功し服のサイズが合わずに困っているのです。服にあった体型に戻すためにもご遠慮なく、本来の4人体制に戻して頂いて構わないかと存じますので、誤解のないようお願い致します。



緑に囲まれるしあわせ

長濱 彰 宣

私にとっては仕事が一番の楽しみです、ゴルフ、温泉旅行と美食、車の運転とともに庭の手入れも楽しみの一つです。

外観のためばかりでなく、患者様の癒しとCO₂削減の少しでも助けになればと医院の周囲に植栽を行っています。



特に待合室とリハビリ室からは狭い庭ですが、みどりが見えるように設計しました。常緑樹ばかりでなく、春には花が咲き、秋には紅葉、冬には落葉と季節を感じるように樹木を配しています。五葉松、山もみじ、花水木、檜、ヒメシャラに加えて、南九州らしい風情を出したいと考え岩つつじ、本霧島つつじ、佐多つつじ、深山霧島つつじ、三つ葉つつじ、ケラマつつじといった南九州原産のつつじを中心に構成しているつもりです。3月の岩つつじ～5月のケラマつつじまで時期を違え、ピンク～紫～朱～紅、小輪大輪と様々な姿を見せてくれます。佐多つつじは落葉ではありませんが、冬の間は後葉少し

暖かくなり始めると緑になり葉の色あいの変化だけでも季節の移ろいを感じさせてくれるかわいいやつです。



この数年の異常気象による夏場の高温乾燥は、高山系のつつじには厳しいもので、都城の夏は大変です。特に老木ほど子孫を残そうと花を沢山つけてくれますが、劣悪な環境に負けて、枯れてしまわぬかと心配しながら世話をしています。開院以来10年目ですがすでに数本命が尽きたものもあります。「佳人薄命」ひとつと同じで高価で貴重なものほど繊細で弱いものです。

季節が廻るごとに見るものを楽しませ癒してくれる木々に感謝し、か弱く物言わぬ植物を大事にしてあげてこれをこれからも心がけていくつもりです。





スキューバダイビングと 水中写真の魅力

池之上 貴

私がスキューバダイビングを始めたのは25歳の頃です。当時一緒に病院で働いていた先輩が事あるごとに水中世界のすばらしさを話しており、是非私も一緒に行きたいと思ったのがきっかけでした。それから15年以上水中の世界に取り憑かれています。

これまでに、国内、国外問わず様々なダイビングスポットを訪れました。国内では九州近郊、沖縄周辺、島々、国外ではグアム、サイパンは幾度となく、パラオ、モルジブ、マレーシア、モルジブ、バリ島、ハワイ、メキシコ、等々、様々な南の島を訪れました。なかでも、15年ほど前に初めてパラオ諸島を訪れた際のダイビングは衝撃的でした。30メートル以上の透き通った海の中で、魚の大群、サメ、ウミガメ等が大挙して目の前を通り過ぎていくのです。あの瞬間には日々の雑踏なんか頭の中から全て消え去ってしまいます。海中の透明度でいえば、サイパンが群を抜いています。40-50メートルぐらいは透明度があるのではないのでしょうか、少しの濁りも感じさせないあの海は格別です。私が初めて海外でのダイビングを経験したのがヤップ島でした。当時（15年前）のヤップ島はまだ未開の地で、飛行場（とても国際空港とはいえません）に降り立つと、木造牢

屋の様な税関の中で、ヤップ人が気息そうに入国スタンプを押していたのを覚えています。また、島内には信号もなく、道路は舗装なんてされていませんでした。そのヤップ島では初めて、マンタ（巨大なエイの仲間）を目撃しました。今でも忘れませんが、マンタが目前に現れた瞬間は時間が止まっている様で、優雅に泳いでいる姿は圧巻でした。モルジブにも2回ほど訪問しました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、モルジブには小さな島が無数に存在しており、各島に1つのホテル（リゾート施設）があります。ですので、訪れる度に場所を変える事が出来るのです。2度目のモルジブが圧巻でした。マンタポイントに潜った際に、マンタの群れ、群れ、群れです。もう、頭上何処を見てもマンタ、マンタでした。さすがにあの時にはマンタも飽きてしまいました。また、小生がまだ研修医時代ですが、スペシャル弾丸ツアーを計画しました。当時は福岡発のサイパン行き直行便の時間が午後8頃だったと記憶しています。当時の九州大学病院は在院日数の制限もなく、ゆっくりとした時間がながれていました。我々は金曜日の夜に福岡空港に集合し、飛行機に乗り込んで午前1時頃到着、翌日ダイビングをして、翌々日に帰国です。楽しかったですよ。あの頃

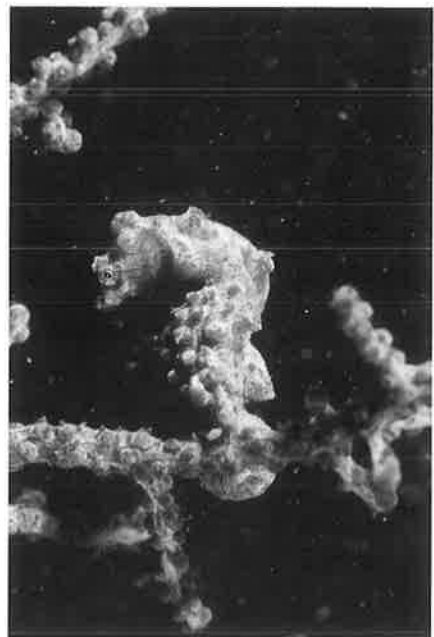
に戻りたいですね。

いろいろと南方の島を訪れる度に感じるのですが、戦時中、日本軍がこの島までやってきて、基地を作り、飛行場を作り、荒地地を開拓して頑張っていたのだなあと感傷にも浸ります。パラオのペリリュー島では壮絶な銃撃戦があり、海が真っ赤に染まったと聞きます。当時の大砲がそのままの姿で残っていました。サイパン島にはバンザイクリフという断崖絶壁の場所があります。アメリカ軍に占領されて、どうしようもなくなった日本人がその絶壁から『天皇陛下バンザイ』と叫びながら100メートル下の海に飛び込みました。数多くの慰霊碑もありました。私が訪れた土地で、日本軍が占領した最も離れた場所はパプアニューギニアです。日本から飛行機で8時間ぐらいかかるのですが、当時の船、航空機の技術でよくぞあんな所まで占領しに行ったものだと、感心したりもしました。

ダイビングを始めた当初はただ海に潜って水中世界を見る事だけで満足していたのですが、徐々にその世界を他人にも教えてあげたい、記録に残したいと思う様になりました。ちょうどその頃にデジタルカメラ、ビデオが小型化されてきた時期だったと思います。どうせなら、動画が良いだろうと思って、思い切って水中用デジタルビデオカメラセットを揃えました。さあ、ビデオを持って各地に行きました。パラオ、モルジブ、シバダン（マレーシア、ボルネオ島の有名なダイビングポイント）等々で、水中ビデオを駆使して撮影しました。帰国後に編集（音楽を付けて）して仲間に配布すると、もう評判はうなぎ上りです。家族で上映会をしても、皆で海の中を共有できるので、大喜びです。

最近では水中カメラも始めました。カメラを始めて分かったのですが、撮影条件、構図等がかなり難しい事に気付かされます。一眼レフのデジタルカメラで撮影していますが、いろいろ勉強させられます。海の中で、忍耐強く魚の表情を確認しながら撮影したり、魚の群れをどの方向から撮影するのがベストなのか、日々学習の毎日です。

数年前からは宮崎でもダイビングをしています。主に南郷で潜るのですが、実は南郷も侮れません。珍しい種類のタツノオトシゴの仲間（ピグミーシーホース）がかわいくてたまりません（写真参照）。夏になると時折南郷の海中に、大きなカメラを持った私が居ますので、声をかけてあげてください。



ピグミーシーホース



私の楽しみ —「逝きし世」とiPhone

長崎県立こども医療福祉センター

山口 和 正

私の今の楽しみというか関心事の一つは、明治維新後に滅びてしまった日本文明「逝きし世」とiPhoneをいじくり回す事。勿論、直接的には何の関係も無い（強いて言えば、後述の小児保健研究会で座長をした時、iPhoneをストップウォッチに使っていた事か）。折りしも、幕末から明治にかけては「龍馬伝」や「坂の上の雲」でNHKがムードを煽っているが、きっかけは長崎の小児保健研究会で、仁志田博司東京女子医大名誉教授が、渡辺京二氏の「逝きし世の面影」という本を紹介された講演会。幕末から明治にかけて日本に来た西洋人が日本をどうみたかということをいろんな文献から引用して書いている本だが、惹かれて読んでみた。その中の1つの章に「子どもの楽園」というのがある。彼らの多くが口をそろえて、“日本ほど子どもを大切にす国はない”・“日本ほど子どもが幸せな国はない”と述べていることは仁志田先生が紹介された通りだが、他にも彼らを魅了した日本の自然や愛らしい女性への賛美など、かつての「素朴で絵のように美しい国」だった日本が紹介されている。日本が近代化するに際し、否応なく切り捨てざるを得なかった「逝きし世」とは、江戸時代という手工業社会が辿り着いた文明の一つの頂点であり、「たかが子供を楽しませ

せるのに、どうしてこんなに知恵や創意工夫、美的感覚、知識を費やすのかと、おもちゃ一つをとっても当時の西洋人を驚かせるような「夢のような」文明だった。而して、当時の日本人が「肉体という自然になら罪を見出していなかった」のに、西洋人の「無邪気で傲慢な宣教師根性」が、混浴や庭先での行水、乳房を曝け出しての人前での授乳等を道徳的退廃、羞恥心の欠如と決め付け、滅ぼされてしまった「逝きし世」である。一つの政権が誕生するとき、自らの正当性を主張するため、過去の政権を完全否定するのは世の常であり、明治政府や西洋文明至上主義により、長いこと江戸時代は暗黒の封建社会であったと捉えられてきたが、最近江戸時代の見直しが進み、リサイクル社会としても脚光を浴びている。懐古趣味でなく江戸時代を学び直す良い時期である。しかし、現代になるとマザーテレサに、「豊かな世界の中で日本の子どもは一番不幸だ。物質的に豊かでも、日本の子どもの目は輝いていない」と言わしめるような国になってしまった。江戸時代を回顧することで解決するようなものではないが、決して日本が再び「世界で一番子供が幸せな国」になることは不可能ではないと思う。戦国時代に日本の地を踏んだ宣教師も、江戸時代末期に日本

を訪れた外国人と同様の日本を目撃している。日本人は変わっていない。日本人のDNAに、旺盛な知的好奇心、礼儀正しい謙虚さと思いや、子供への慈しみなどの遺伝情報はしっかりと組み込まれていると信じる。

江戸時代、いやそれ以前からの日本の伝統的な手作り工芸品の質の高さや小さいものの中に凝縮された知恵、遊び心を思うにつけ、「iPhoneは日本でこそ作られるはずのものではなかったのかいな？」という思いがしてきた。実用性と遊び心を満載したiPhoneを使っているとそんな気がしてくる。今までの携帯電話の親指一本での入力にはなかなか慣れなかったが、iPhoneでは横にしてフルキーボードで両指で入力できる（フリックするひらがな入力もあるが使わないので選択画面に出てこないようにしている）。予測変換、学習機能で長い日本語を打ち込むのもさほど苦にならない。携帯電話というより、電話もかけられるインターネット端末と言ったほうが当たっている。ニュースも見れるしゲームもできる。普通にどこでも医療情報を検索できるのも有り難い。ナビで散歩道の行き止まりも教えてくれる。よくもまあ色んなことができるものだと思心するが、最初ハマったのがピートルズや中島みゆき等のコンサートのライブ映像閲覧。モリスベシャル振り付けのダンスや吉田卓郎の「落陽」のライブ(73年版)は圧巻である。コンポにつなげば、音の質も相当良い。生で体験することの適わなかったライブや懐かしい映像=官能的なポレロのリズムに乗って現

れるホンダプレリウドや、宮崎美子が水着になる往年の名機ミノルタX-7のCF、イチローレーザービーム集等を、隙間時間に一人密やかに楽しんでいる。何と贅沢なと思った事の一つは、電卓機能。縦にしていれば普通の四則計算機だが、横にすると関数電卓機になる。しかも殆どマニュアルにも載ってない。整形外科に入局して間もない頃、甲斐法による大腿骨骨頭の真の頸体角を計算するため関数電卓機を買ったが、単一機能で3万円した。それが今や隠し味程度の位置づけである。まだほんの一部の機能しか使っていないが、それでも相当面白い(ただ、段々画面の小ささとスピードの遅さが気になりだし、iPhoneの次はiPadというAppleの戦略に乗せられそうだ)。

iPhoneに一つの文明の結晶を見る思いがするが、勿論、一つの国の総体的文明と比べるとは無い。また外の世界と繋がることで威力を発揮するiPhoneと、鎖国により外の世界と隔絶され、独自の文化を熟成していった「逝きし世」では全く正反対のベクトルの世界である。しかし、江戸時代iPhoneが日本に出現したらどんな騒ぎになり、これにまたどんな創意工夫を日本人は加えただろうと考えるのも楽しい。単なるSFの世界だが、面白い物を使ったり、失われてしまった文明を検証することで今の閉塞的な社会を少しでも打破できればよし、快適に気持ちよく逝きたい、否、生きたい(まあ、どっちでも似たようなものか)と思う。

医局長挨拶



医局長挨拶

矢野 浩 明

地方の医師不足が叫ばれる昨今、本年度は3名の新入医局員を迎えることができ、とてもうれしく思います。

昨年度は、民主党による政権交代・事業仕分け・新型インフルエンザの大流行・21世紀で最も継続時間の長い皆既日食(宮崎では天気が悪くほとんど見ることはできませんでしたが・・・)・裁判员制度開始・初のシルバーウィーク5連休・バンクーバーオリンピック開催など本当に様々な出来事がありました。

昨年度の教室の行事としましては、学術面におきましては例年通り第58回、59回宮崎整形外科懇話会、第41回、42回宮崎県スポーツ医学研究会を開催し、三水会は3月までに190回を迎え、1月には癌研有明病院整形外科の顧問 川口智義先生と部長 松本誠一先生を迎えて特別講演も開催いたしました。また、よくみられる小児整形外科疾患などのテーマを設けて最新の知見が得られる第8回、9回ひむか骨関節椎脊髄疾患セミナーも開催しました。若手教室員のみを対象としたMOSSも「整形外科医に必要な救急疾患のABC」「超音波(エコー)診断学のすすめ」というテーマで開催し大変好評でした。

厚生面においては、『シルバーウィークに沖縄へ医局旅行に行き・・・大変盛り上がりました・・・』と書きたいところですが、新型インフルエンザの流行中(特に沖縄は大流行中)であったため、

その後予想される事態を回避するためにやむなく中止となりました。(厚生係の池尻先生、みんなのために企画から手配そして中止の手続きまで本当にお疲れ様でした)その代わりに忘年会は北郷フェニックスでの宿泊忘年会となりました。沖縄に行けなかった分もあったせいかとても楽しく盛り上がったひとときでした。

日整会全国野球大会は福岡ドームで初戦を迎え、決勝まで勝ち進んだものの宿敵金沢大学に0-1と惜敗し準優勝でした。また日整会全国サッカー大会においては信州大学に1-0で初勝利を果たしました。2010年の出場権をかけた地区予選では野球・サッカーともに激戦を突破し本戦出場権を得ることができました。

最後になりましたが、現在、社会情勢も不安定で、取り巻く環境も厳しい状態にあります。こんな時期だからこそ、明るい未来になるために一致団結し、邁進する必要があるかと思えます。私自身、約1年半医局長を務めさせていただいておりますが、まだまだ皆様に満足していただけるような迅速で細やかな医局長業務が出来てないかと存じます。前年度以上に、教室ならびに教室員の発展と繁栄のために精一杯頑張りますので何とぞよろしくお願い申し上げます。同門の先生方には常々、多方面にわたりましてご協力・ご支援いただき感謝申し上げます。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

第4回宮崎整形外科奨励賞



第4回宮崎整形外科 医学奨励賞を受賞して

国立病院機構 宮崎病院

安 藤 徹

この度は栄えある第4回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞させていただき大変うれしく思うとともに選んでいただきましたことに対し感謝の念でいっぱいです。それまでの受賞された先生方の実績に比べますと私の場合は今回そのような実績もなく甚だ恐縮している次第です。

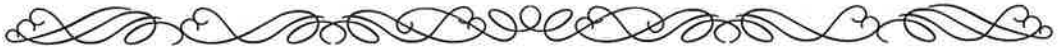
受賞理由は地域医療の貢献とのことですので児湯地区の医療の現状や当院の現状について述べさせていただきたいと思います。

児湯地区は当院のある川南町をはじめ、他、高鍋町、新富町、都農町、木城町からなりその人口は約8万人程度です。児湯郡地区内には複数の整形外科施設が存在しますが、入院設備を整えている施設は当院を含め三施設にすぎません。当院へは整形外科的疾患で入院加療、手術的加療の必要な患者さんの紹介を周辺医療施設よりいただいて治療を行っています。近年は外来患者数、入院患者数も増加しており、毎月50～60名の新規入院があり、常時50～60名の入院患者を治療、特に手術症例におきましては平成21年は約330症例をこなしてきました。手術症例が増加している背景には週1回の麻酔科医の派遣を医大よりいただき、全麻の手術、長時間の手術が以前よりは行えるようになったことや週2回半日の整形外科医師の診療援助を当教室よりいただき多少の侵襲のある手術も行えるようになったことなどがあげられます。人工関節をはじめ外傷以外の手術にも積極的に取り組み地域のニーズに対応しています。悩みの種は後方支援病院がほとんどないため患

者さんによっては長期の入院になり在院日数短縮においては病院事情を圧迫している部分もありますが、その辺は専門部署による地域連携を強化、対応しています。常勤の整形外科医師は2人ですので毎日が非常に多忙ですが、やりがいをもって取り組んでいる毎日です。

当院の事情についても少しお話ししたいと思います。私が平成15年7月に当院に赴任した頃は確か15、16名の医師が在籍しており、4つの一般病棟と結核病棟があり250床の病院でした。時代の流れとともに地方の医師不足問題は当院にも影響、現在常勤医療は整形外科2名、内科2名、小児科3名の計7名まで減少したため病院規模を縮小せざるを得なくなり、現在は一般病床100床で診療を行っています。医師数、病床数は少なくなりましたが、検査などの設備はそのまま基本的にいつまでも自由にオーダーし利用できます。必要に応じてすぐにCT、MRIなどさまざまな検査や手術を組み、自分たちのペースで仕事ができるため非常に助かっています。早期に診断し、治療計画を立てられることが最大の利点と思っています。

最後になりましたが、当院の変遷にも見られますように児湯地区内の医療の現状は他の地域同様まだまだ厳しい状況です。整形外科医として自分たちにできることを考え、しっかり実践していくことが大切なことだと感じています。今回の受賞を励みにこれからも地域医療にしっかり貢献していくことを誓いご挨拶とさせていただきます。



第4回宮崎整形外科 医学奨励賞を受賞して

濱 中 秀 昭

この度は、名誉ある第4回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞させて頂き誠にありがとうございます。これまでご指導いただいた帖佐悦男教授、久保紳一郎准教授、黒木浩史講師をはじめ、ご指導いただいた諸先生方に深く感謝いたします。

私が、頂いた奨励賞は「脊柱外科分野での貢献と積極的な学会活動」です。脊椎外科分野での貢献と言われても、貢献どころか先生方に多大な迷惑ばかり掛けているのでこんな光栄な賞を頂いていいものかと思いましたが、有難く受賞させていただきます。

私は、平成7年に宮崎医科大学を卒業し田島前教授の整形外科教室に入局させていただきました。すぐに大学の下肢グループに配属されました。大学では6か月ほど下肢グループで研修させていただき、その後は様々な関連病院で外傷を中心に研修させていただきましたが、脊椎疾患に関しては、ヘルニアのマイクロラプを何例か見たことがある程度でした。そんな脊椎に関して何の造詣もなく、また医局に対して脊椎外科をやりたいと一度も言った事のない私がなぜか分かりませんが、当時久保紳一郎先生が率いる大学の脊椎グループに戻ってくるようにと医局長であった渡邊先生から命じられました。自分としては、全く脊椎に関しては素人に近い状況だったので、研修医と同様に勉強しようと思いましたが、近年の医師不足もありいきなり大学

の外来デビューすることになりました。関連病院の先生方から紹介いただく患者様を私のような何も分からない医者が診察しても構わないものか悩んだ時期もありました。そのため大学に戻ってすぐに胃潰瘍になりました。(それまでは、体調は良好で一度も胃潰瘍の既往はありませんでした。) その後はPPIをしばらく欠かせない生活をしていました。しかし人間というものは怖いもので、慣れてしまうものだと思最近痛感しています。体重は減ることなく右肩上がりに上昇し内服薬はPPIからザイロリックに変わっています。平成15年4月に大学に戻ってから執刀症例も300例を越し、日本脊椎脊髄病学会指導医にもなれたのも久保先生、黒木浩史先生の海のように深い慈悲の心と我慢強く続けて頂いたご指導の賜物と思っています。今後も何とか脊椎外科医として一人前になろうと努力していく所存であります。

2010年4月現在、久保先生が脊椎グループを離られたため、大学病院脊椎グループ計8人で臨床に研究に頑張っております。大黒柱でありました久保先生の退官は大学病院にとって大きなマイナスでしたが、黒木浩史先生を中心にこれまで以上に大学を盛り上げていければと考えています。若輩者で同門の先生方に迷惑を掛けることばかりだと思いますが今後も暖かく見守っていただければ幸いです。



H21年度 医局旅行の報告

厚生係 池 尻 洋 史

大学へ戻って間もない私は、医局長の矢野先生からの「4月から厚生係をよろしく」との一言で厚生係を担当することになりました。私のことをよくご存知の方ならわかると思いますが本当に私にそのような役が務まるのかと自分でも不安でした。これまで厚生係として活躍されてこられた河原先生に色々と教えて頂きながら何とかこなしている状況です。

さて厚生係の役割をご説明しますと、まずは4月の帖佐杯(ゴルフ)の幹事に始まり、日整会の宿泊・交通の手配(野球・サッカーの段取り)、夏には西日本親善野球大会の手配、秋になると医局旅行、冬には忘年会の幹事、最後に送別会の幹事と1年を通じて様々な行事・イベントがあり思っていた以上にハードな仕事でした。

本題に入りますが、厚生係を命じられた私はすぐに秋の医局旅行の行き先を決めなければなりませんでした。毎年大勢の参加者を予定している上に昨年は9月の連休がシルバーウィークといわれるほどの大型連休であったため、早めに予約を取らなければならなかったのです。私の補佐として山口奈美先生と福田一先生が手伝ってくれておりましたので相談の結果、沖縄に決定し旅行会社に航空チケット・ホテル等を抑えてもらいました。8月には医局員にアンケート

を取り、様々なオプションを用意し、あとは皆さんから旅行代金を徴収する段階となっていました。ところが、昨年は新型インフルエンザが日本に上陸し、8月末になると沖縄での流行がマスコミを賑わすようになっておりました。新型インフルエンザに世の中が過剰反応を示す中、もしも沖縄旅行で医局員が集団感染を起こすような事態となれば、マスコミの格好の餌食となってしまう。そこで帖佐教授と矢野先生へ相談の末、余儀なく中止することになりました。この半年の間費やした労力は水の泡となり、医局旅行は振り出しに戻ってしまいました。医局旅行には新入局員の歓迎の意味合いもありますのでやらない訳にはいきません。しかし10・11月は学会シーズンでなかなか日程的に調整がつかず、とうとう年末の仕事納め日である12月28日に一泊二日の忘年会を兼ねた医局旅行を北郷フェニックスリゾートにて開催する運びとなりました。

仕事納め日は整形の手術日でしたが大学の手術室が使用できないため、皆仕事を早めに切り上げ各自乗り合い等で集合しました。約2名ほどパ○ンコに熱中しすぎて遅れましたが、参加者は総勢48名と盛大な忘年会兼医局旅行となりました。ゆっくりと温泉に入り一年間の疲れ

を癒した後、まずはじめに帖佐教授より一年を締めくくる御挨拶を頂き、久保准教授の乾杯の音頭で宴会の幕が開きました。美味しいお酒と共に「妻地鶏」と「きなこ豚鍋」がメインの料理の数々が並び、新入局員と看護師による余興は天津木村の「あると思います」シリーズでのシュールなネタで盛り上がりました。また、お酒の入った病棟医長・濱田先生と外来医長・濱中先生の面白く楽しいトークで宴会を更に盛り上げていただきました。♫は黒木浩史先生による万歳三唱にて一次会を終了いたしました。

二次会は、20畳ほどの部屋を2部屋用意して行いました。1部屋には麻雀大好きな先生方が集まり1卓を6～7名で入れ替わりながらの麻雀大会が開催されました（ホテルには内緒で）。公式な結果はありませんが、麻雀狂の山本先生が優勝されました。ちなみにコペンの河野雅充

先生がカモにされたとの噂でした。もう1部屋では持ち込んだお酒とおつまみで深夜遅くまで楽しい談笑が交わされていました。帖佐教授が部屋の中で一番生き生きと輝いておられたのが最も印象に残っております。

翌日は幹事能力不足でゴルフコンペのみの企画となり、メンバーは帖佐教授・藤浦師長・福田・深尾・長澤先生、飛び入りで国療川南病院の樋口先生と私の7名でした。北郷フェニックスのコースは山間コースの難コースでこの日は非常に強い風が吹き皆さん散々な結果でした。結果があまりに酷かった為スコアについては触れずにおきます。

無事に問題なく終了し皆様のご協力の賜物と感謝しております。以上にて平成21年度医局旅行のご報告とさせていただきます。





日本整形外科学会 野球大会を振り返って

野球部主将 安藤 徹

平成21年5月14日から4日間福岡で日本整形外科学会が開催された。例年のごとく我が宮崎大学は九州代表として前日より開催の野球大会に臨んだ。思い返すと3年前の全国大会連覇後に私が関本キャプテンからバトンを引き継ぎ、3連覇を目指して望んだ2年前は雨の中、2回戦で東京大学にまさかの敗戦、去年は3回戦の準決勝で宿敵金沢大学に5点差を追いつかれ、これまたまさかのじゃんけん負け（この年金沢大学は優勝しており、宮崎大学も優勝！の解釈でよいのでしょうか？）で涙をのんだ。毎年感じるのだが、優勝する実力は十分にある。負けるときは僅かなきっかけで流れが変わり、僅差で敗れる。勝つときも負けるときも僅かな差である。キャプテンとして最終年のつもりで臨んだ今大会、福岡Yahooドームで幕が開けた。

1回戦は数年前横浜スタジアムで決勝戦を戦い、初優勝を成し遂げたときの相手札幌大学である。意外性の男、池尻を初戦より思い切って起用、期待にこたえ初回満塁のチャンスで走者一掃の三塁打を放ち、投げては入局を果たしたばかりの長澤が完投し5-3で勝利した。

2回戦は佐賀大学、共に九州同士の対戦となった。最近は九州大会での対戦もあり、手の内を知る相手である。序盤に2点を先制するもその後追加点なく、相手に1点差に迫られるも三橋が完投、2-1で勝利した。

準決勝は岐阜大学、試合前の練習風景で勝てる確信ができた。相手は連戦の疲れか、ここまで勝ち上がった満足感なのか、全く活気が感じられなかった。初回到5点を先制、矢野先生、三橋の継投で6-1で快勝した。

いよいよ決勝、もちろん相手は宿敵金沢大学である。今まで幾度となく戦い、常にすばらしいゲームを行ってきた。チームカラーは違うが、実力は互角、ちょっとしたきっかけで流れが変わる、そこがいつも勝負の分かれ目である。采配をとる自分としてはそのタイミングをはかった。序盤は去年に続きリベンジを誓う松岡が好投、相手も一歩も譲らず0-0のまま試合が進んだ。5回到相手が守備の乱れにヒットをからめ1点を先制、その後その1点が重くのしかかり追いつくことができないまま0-1の敗戦となった。先制をするチャンスはあったが、策におぼれて得点できなかった。焦るが故の結果と感じた。

この3年で一度も優勝できなかった。この年でキャプテンを辞めるつもりでいたが、今回の悔しさを晴らすためもう1年続投させてもらうこととなった。次回必ず優勝の報告をします、自らに言い聞かせご報告と致します。

最後になりましたが、同門の先生方をはじめ応援して下さる皆様方いつも感謝申し上げます。来年こそはご期待いただきますようよろしくお願いいたします。



第52回西日本整形外科 親善野球大会を振り返って

一軍キャプテン 安藤 徹

平成21年8月2日に大分で西日本親善野球大会が開催された。5月に福岡で開催された日本整形外科野球全国大会では決勝戦で宿敵金沢大学に0-1と惜敗し準優勝にとどまった。この時の悔しさが覚めやる間もなく、全国大会予選の九州大会がスタートした。メンバーはここ数年変わることもなく(一軍メンバーに20歳台の選手はいなく、平均年齢は約40歳と思われます)、九州大会では安定した成績を残し、毎年のように全国大会へ出場している。近年九州のレベルが上がってきているとはいえ、今回も絶対に負けるわけにはいかない。キャプテンとしての責任は重大である。

1回戦：VS 鹿児島大学(三橋、池尻 - 福岡)
10-0 ○

自分が入局して15年、負けたことはないチームである。途中より池尻を投入するほど楽勝の試合であった。

2回戦：VS 佐賀大学(矢野先生 - 三村
(2年後整形入局予定の臨床研修医))
8-2 ○

最近よく対戦する相手である。去年は野球部出身の臨床研修医を投手として擁し、九州大会に優勝したチームであったが今年はその選手が見当たらない。よくよく聞いてみると佐賀大学には入局しなかったようだ。ほっと胸をなでおろしたところであったが、初回到連打で2点先制された。しかし終わってみれば8-2の快勝であった。

準決勝：VS 福岡大学(長澤 - 三村)
1-0 ○

ここ数年毎年対戦する相手である。年々レベルアップし宮崎大学との差は確実に狭まっている。今大会一番のヤマであった。唯一の5回戦であり、先行逃げ切りが鉄則である。2回到キャプテン自ら初のランニングホームランを放って先制(この場面はもっとたくさん書きたいのですが、くどくなるのでやめておきます)。その後緊迫した中で試合が進んだが、虎の子の1点を長澤が守りきり1-0で勝利した。晴れて全国大会出場を決めた試合であった。

決勝：VS 琉球大学(松岡、三橋 - 福岡)
4-5 ●

両チームとも満身創痍、総力戦となった。初回到4点先制、しかし徐々に相手に点を重ねられ、ついに6回到逆転を許しそのまま敗れた。最後は優勝という形で全国大会出場を決めたかったが、全員が力を出し切った試合ではあり、キャプテンとしての重責は果たせたと実感した大会であった。

今回もまた九州地区代表になりましたことで平成22年5月に東京で開催されます日整会野球大会に出場することになりました。野球大会参加におきましては大学を初め関連病院の先生方や同門の諸先生方にはいろいろご迷惑をおかけすることと存じますが、ご理解の上、ご協力、ご支援いただきますよう宜しくお願い申し上げます。



第17回同門会ゴルフ大会

渡 辺 雄

寄稿のご依頼を頂いた後、改めて自分のグロス73のスコアーを思い起こして何である時こんな調子によかったのか自分でも解りません。一緒にラウンドして頂いた帖佐教授、市原正彬先生、戸田先生がいい雰囲気を作って頂いたのが最大の要因だと思います。ゴルフは技術もさることながらメンタル的な面が非常に影響します。よほどいい精神状態でプレーに集中できたんだと思います。お陰様で優勝させて頂き世話人の先生方を始め皆様に心から感謝しています。

ところで今までは私は同門会や新入局歓迎会などの案内が届く度に今回はゴルフと一緒にあるのかなとついつい気になります。ゴルフに釣られて色々な会に出席させて頂いている感じで、

正直な所どちらがメインなのかわかりません。でも年金や介護保険が使えるようになった65歳を過ぎた最近ではゴルフをするのが少し疲れてきました。ラウンドするのも月に2回位と以前に比べるとかなり少なくなり夏も7、8月は心臓の調子が悪くなるので全くしていません。久しぶりにゴルフをすると足腰が弱っているのに気づくし、今ではゴルフは私にとっては貴重な運動となっています。たかがゴルフ、されどゴルフで、今からも健康維持のためにできるだけ長く続けようと思います。世話人の先生方には色々ご迷惑をおかけしますが老人が福岡からのこのこ出てきた折には今後ともよろしく願いいたします。



第12回同門会 テニス大会について

野崎東病院

弓削孝雄

11月23日（勤労感謝の日）に青島の太陽閣テニスコートで開催されました。当日は前日の雨とはうって変わって好天で、私は青島まで自転車でラケットを背中にかついでサイクリングで参加しました。



当日は、川野啓一郎（会長）をはじめ、福田健二先生、松本英裕先生、前回優勝の神園豊先生、尾田朋樹先生、渡部正一先生、オープン参加で潤和会の高妻雅和先生、それに弓削孝雄の8人で熱戦(?)を繰り広げました。

9時から、くじで組み合わせを決めて、少し練習のあと試合の開始。好天の中、好プレーあり、珍プレーあり、相手にボールをぶっつけたり、いろいろありました。気がついたら、最終戦を残して、尾田先生と私がポイントで競ってしまって、結果、同点となり、年齢差で、私が優勝となりました。うれしいやら、来年の幹事の事を考えると、複雑でした。しかし、優勝賞



金(?) ももらえたり、皆から祝福されたので、2次会で一人でビールでカンパイしました。

あくる日は右膝に水が溜まって、まあ、しょうがないか!! あきらめています。同門会のテニスも平均年齢が50歳を超えているようで、もちろん私と川野先生が二人で引き上げているのですが、若い先生も腕に自信のある方も、ない方も、ぜひ参加してください。ゴルフもいいですが、テニスも運動になって、ストレス解消にもってこいですよ。

5月にはミニ大会を計画するつもりです。





第5回マージャン大会報告

江夏整形外科クリニック

江夏 剛

第5回同門会マージャン大会は例年通り、同門会忘年会終了後橘橋近くの「和楽」にて16名の強者雀士の参加の下行われました。

今回も半荘3回の合計獲得点数で順位を決める方式で、各半荘終了後の1位から16位までを集計し第1グループから第4グループまで振り分け、競っていきました。毎年いろいろなバトルが繰り広げられ、今年も新米医師と重鎮の先生対決や、オーベン、コベン対決など様々な人間模様が垣間みれました。

今大会は昨年親の役満をあがり優勝した私の

昨年同様の国土無双が福田 一医師を直撃し2連覇濃厚で最終荘をむかえました。最終第1グループ3位の田島卓也先生が怒涛の追い上げをみせ第5回大会は田島卓也先生の第1回大会以来の4年ぶり2回目の優勝で幕を閉じました。5～8位卓で1位となった弓削先生が逆転2位となり、3位には私江夏が入りました。

今年も昨年同様に開催されると思います。学生時代鍛えた皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第1回同門会 サーフィン大会

比 嘉 聖

あいにく天気は快晴、風はほとんどなく波はあまりないものの絶好のサーフィン日和。朝6:00、小島先生の電話で目覚めた自分は、眠い目をこすりながら浜へ車を走らせた。

サーフィンなんて自分には無理ムリ・・・、ネットサーフィンなら得意なのだが。

沖縄出身の自分だが、マリンスポーツは大の苦手だ。

海によく行くようになったのは、大学生に入ってからのことだ。

現金片手に、朝10時パチンコ屋の海に。魚群をみてはハッピーに、亀やタコ・カニとたわむれる毎日（わかる人にしかわかってもらえないかもしれないが）。そんなことを頭の片隅に考えているうちに待ち合わせのサーフショップに到着した。

来てるのは小島先生と自分だけだ。さっそく波をチェックしに浜に向かった。

キラキラと輝く波。波はほとんどないが、初心者の自分にはほどよい波のようだ。

設営をしているうちに続々と先生やPTさんが集まり、総勢30人ほどが集合した。

サーフィン大会が始まった。

サーフィンの基本はパドリングらしい。海に入る前にパドリングの練習。要は板の上に腹ば

いになって、自分の腕で漕ぐわけなのだがこの運動に使用する筋肉というのが、普段の生活ではほぼ使わない筋肉ばかり。

サーファーをあまくみていた。こんなにきついのか。

いよいよ実践だ。沖に向かってパドリングを始めた。フラフラしながらもどうにか波に乗れるポイントに到着。

周りのみんなが今だぁ～という瞬間に漕ぎ始める、もちろんそんな簡単に波に乗れるはずがない。

それでも懲りずに5回、10回と波に乗り遅れていると、そのうちスッと誰かが前に押してくれるような感触がつかめてきた。

ボードと自分がスッ～と前に進む。気持ち～。
よし立ってやる。

立ち上がろうとした次の瞬間、ゴボッ、ゴボッ、海の中。波にもまれる。海水ってこんなにしょっぱかったっけ。

海面から顔をだす。サーフィンをなめたらいかんわ。というかやっぱり海は苦手だ。

今頃白状するのは遅いかもしれないが金槌なのだ。足もつかないし泳げない。でも今さら泳げないともいえないし・・・。

まあ、ドクターがこれだけいるのだ。死には

しないだろうと必死にボードにしがみつき、再チャレンジ。

3、2、1次いけるぞっ～ 必死にパドリング。

波と一緒に立った瞬間、立ち上がる。

みんなの歓声（笑い声）。

立ってるよ。ほんのわずかだが立つには立ったかな。

採点基準がはっきりわからないのだが、そん

なこんなで初めてのサーフィン大会で優勝させていただいた。小島先生が企画してくれたおかげでほんとの海人になることができました。ほんとうにありがとうございます。

翌日、すれた乳首の痛みと肩周囲の筋肉痛で困ったのもいい思い出です。企画された小島先生お疲れさまでした。今年もまたよろしく願います。



第5回帖佐杯 ゴルフ大会 優勝

関本朝久

第5回帖佐杯は平成21年4月12日(日)に宮崎レイクサイドGCで行われました。今回は新入局の長澤先生を含めた総勢20名のご参加があり盛大に行われました。帖佐杯は教室主催によるゴルフ大会で、例年新入教室員歓迎会の翌日に行われております。田島前教授が始められたこのコンペの歴史は古く、現在は帖佐杯に名称を変更して行われています。ご参加の先生方も毎回気合十分で望まれています。今回初優勝させていただき、栄えある帖佐杯の歴史に名前を刻めたことを心よりうれしく思います。誠にありがとうございました。

当日は春風の清々しい快晴の中行われました。今回ご一緒させて頂きました、安藤先生、河原先生、池尻先生、大変ありがとうございました。教室を代表するつわものの先生方と本当に楽しくラウンドさせて頂きました。いつも私は日頃の練習不足を補うために、ゴルフをする日は開場時刻にはゴルフ場に到着してすぐに練習場に向かい、3箱以上は打ち込んで、バンカー、ア

プローチ、パターとフルコースで練習してからティーショットに望みます。実はラウンドが始まる頃には、すっかり疲れてしまって良いスコアが出ないことが多いのですが、この日はとて



もうまくいきました。4年間の医局長と3年間の野球部キャプテンの間に、すっかりゴルフの腕前は錆び付いてしまい、周囲からはゴルフ界から引退したと思われる

ていたようですが、今回昔のようなスコアが出て、再びゴルフ道に精進しようと決意いたしました。私は第1回から幹事をさせて頂いておりまして、幹事ながら優勝させて頂き大変恐縮致しております。この度は誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



賛助会員入会ごあいさつ



自己紹介

社会医療法人泉和会 千代田病院

会長 千代反田 泉

この度、宮崎大学医学部整形外科学教室の賛助会員として入会を許可されましたことは、大変嬉しくこの上も無き光栄に存じます。

先ずもって帖佐教授の心温まるご配慮に心から深く感謝し、御礼を申し上げますと共に、医局の先生方にも深く御礼申し上げます。

ここに入会の許可を頂きましたうへは、会則を順守し、医局の発展にいささかでもお役に立てますよう微力を尽くしたいと思っております。

今や我が国の医療を取り巻く環境は極めて厳しく、各分野ともまさしく「崖っぷち」に立たされていると言っても決して過言ではないと存じます。

私共は、一刻も早くあるべき姿に立ち返り、国民の安心、安全が確保されることを念願するものであります。

入会を機に、更なるご指導ご鞭撻をお願いしてご挨拶と致します。



自己紹介

社会医療法人泉和会 千代田病院
理事長 千代反田 晋

この度、帖佐教授初め教室の諸先生方ならびに同門会の先生方のご厚情を賜り宮崎大学医学部整形外科学教室の同門会に入会させて頂き、哀心より御礼申し上げます。私は昭和55年に東京医科大学を卒業し同年宮崎医科大学第2外科に入局しました。その後昭和62年10月に大学病院を辞し、東京の公立昭和病院を経て平成2年3月より千代田病院に勤務しております。宮崎医大勤務時代は設立後間もなく医局員数も少なかったことから先輩後輩の結びつきが強く、仕事も遊びも半端では無かった記憶があります。心臓大血管等大きな手術の後はICU居残りを命じられ、床に座り込んで朝を迎えたことも多々ありました。一方夜間救急入り回など、ある時は大手を振って、またある時はこそそと通り抜けしたことなど懐かしく思い出されます。

この度同門会の席上、帖佐教授が教室は文武両道を大事にしている旨新入医局員の先生方にお話されました。教授の強いリーダーシップのもと、教室の先生方が一丸となって頑張っておられる姿がひしひしと伝わり大変感銘を受けました。

初めて同門会に出席し大変緊張致しましたが、教室の先生初め同門会の先生方に大変暖かく迎えて頂きましたこと心より感謝申し上げます。今後は同門会の一員として頑張っ参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新入会員自己紹介(正会員)



名 前：川 野 啓 介

生年月日：昭和57年12月22日

出身高校：宮崎西校

出身大学：東医大

今度から入局した川野啓介です。

これからは宮崎のために頑張ります。野球も頑張ります。



名 前：永 井 琢 哉

生年月日：昭和59年3月20日

出身高校：宮崎西校

出身大学：宮崎大学

宮崎大学のサッカー部出身です。脊椎班からローテーションしています。

一生懸命頑張りますので、ご指導よろしくお願ひします。



名 前：宮 元 修 子

生年月日：昭和55年6月18日

出身高校：日向学院

出身大学：埼玉医科大

この度入局しました宮元です。今後先生方にお世話になる機会も多いと思
います。よろしくお願い致します。

平成22年度 宮崎大学医学部整形外科学教室 同門会総会 議事報告

平成22年度総会：平成21年11月28日(土) 16:30~17:30 宮崎観光ホテル

1. 平成21年度 (H20. 10/1~H21. 9/30) 報告

(1) 会員状況 (平成21年9月30日現在)

正会員：151名、賛助会員：44名

(2) 会員動向

正会員入会：河野 雅充 先生 (平成21年4月1日付)

長澤 誠 先生 (平成21年4月1日付)

賛助会員入会：長濱 彰宣 先生 (平成20年12月6日付)

金井 一男 先生 (平成20年12月6日付)

物故会員：矢野 希人 先生 (平成20年11月10日付)

教室人事：ホームページ掲載

結婚：猪俣 尚規 先生

比嘉 聖 先生

開業：江夏 剛 先生 (平成20年10月1日)

工藤 勝司 先生 (平成20年11月1日)

大田 博人 先生 (平成20年11月1日)

(3) 事業報告

H20年 11月12日(木)：第1回役員会 (年度始め) 「ホテルメリージュ」

11月23日(祝)：第11回同門会テニス大会 (優勝：神蘭 豊 先生)

12月 6日(土)：第2回役員会・総会・講演会・忘年懇親会

「宮崎観光ホテル」

第4回同門会マージャン大会 (優勝：江夏 剛 先生)

12月 7日(日)：第17回同門会ゴルフ大会 (優勝：戸田 勝 先生)

11月：同門会名簿・会則発行

H21年 4月11日(土)：第3回役員会、新入生歓迎会

5月末：第20号同門会誌発行「テーマ：医道伝承」

7月12日(日)：第1回赤江浜サーフィン大会 (優勝：比嘉 聖 先生)

(4) 教室支援 (留学、学会など)：

H21年5月 日整会野球大会・サッカー大会

事務委託費・事務人件費

(5) 会計報告

平成21年度決算は監査報告があり総会にて承認された。

2. 平成22年度（H21. 10/1～H22. 9/30）事業計画・予算

(1) 平成22年度の予算案は総会（H21. 11/28）にて承認された。

- (2) 役員会：第1回役員会（平成21年10月8日、宮崎県医師会館）
第2回役員会（平成21年11月12日、宮崎県医師会館）
第3回役員会（平成21年11月28日、宮崎観光ホテル）
第4回役員会（平成22年 4月10日、宮崎観光ホテル）
第5回役員会

(3) 講演会：H21. 11/28

①講師：川越 正一先生

演題：『歩行分析の基礎』

②講師：鳥取部光司先生

演題：『北京パラリンピックにおけるメディカルサポートの経験』

(4) 奨励賞：H21. 11/28 受賞

① 安藤 徹 先生 『地域医療の貢献と積極的な学会活動』

② 濱中 秀昭 先生 『脊椎外科分野での貢献と積極的な学会活動』

*授賞式および講演は平成22年4月10日の新人医局委員歓迎会で実施予定

(5) 親睦行事：H21. 11/23 第12回テニス大会、

H21. 11/28 第5回マーじゃん大会

H21. 11/29 第18回ゴルフ大会

H22. 7～9 第2回サーフィン大会

(7) 同門会会則名簿発行：H21. 12月

(9) 同門会会誌第21号発行（平成22年5月）

*テーマ「私の楽しみ」

(10) 新入医局員歓迎会（第4回役員会）：H21. 4/10（宮崎観光ホテル）

(11) 教室支援（留学、学会など）：平成22年度予定なし

(12) 平成22年度（H21. 10/1～H22. 9/30）総会：H22. 12/4（土）

(13) その他

新入賛助会員：千代反田 泉 先生（千代田病院）、千代反田 晋 先生（千代田病院）

教室同門の研究業績

(2008年1月～12月)

◆ 原 書

- 1) 合併したC型慢性肝炎にインターフェロンを投与した関節リウマチの1例
税所幸一郎, 有住祐一, 江夏剛, 加藤順也, 帖佐悦男
九州リウマチ, 28(1):32-37, 2008.3
- 2) 腕立て伏せにより上腕三頭筋の rhabdomyolysis を呈した一例
魏国雄(大江整形外科病院), 大江幸政, 近藤梨紗
日本整形外科超音波研究会会誌 19(1):22-27, 2008.3
- 3) 手術適応別の鏡視下腱板修復術の成績(共著)
石田康行, 帖佐悦男, 矢野浩明, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也
関節鏡, 33(2):153-158, 2008.4
- 4) 特発性側彎症患者における装具装着状況の検討(共著)
黒木浩史, 久保伸一郎, 帖佐悦男, 田島直也
日本側彎症学会 22(1):42-46, 2008.4
- 5) 鏡視下腱板修復術後に生じた肩鎖関節ガングリオンの1例
崎濱智美, 石田康行, 矢野浩明, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也, ,
菅田耕, 帖佐悦男
整形外科と災害外科 57(1):162-166, 2008.5
- 6) 遅発性筋痛症に対する消炎鎮痛スプレー剤の効果についての検討(共著)
三橋龍馬, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也
九州・山口スポーツ医・科研究会誌, 20:58-62, 2008.6
- 7) 非開放性腱性 mallet thumb に対する観血的治療の1例
高見博昭, 甲斐充雄, 麻生邦一
日本手の外科学会雑誌, 24(6):1170-1173, 2008.6
- 8) 肘部に発生した Parachordoma の1例
高見博昭, 麻生邦一
日本手の外科学会雑誌, 24(6):1123-1127, 2008.6

- 9) MX-2000 ステムの検討(共著)
坂本武郎, 帖佐悦男, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 野崎正太郎,
前田和徳, 中村嘉宏, 船元太郎
第 16 回 MX 人工股関節研究会記録集, 49-52 2008.7
- 1 0) 皮切にこだわらない MIS 人工股関節置換術(共著)
帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 前田和徳,
野崎正太郎, 中村嘉宏, 船元太郎, 柏木輝行
第 16 回 MX 人工股関節研究会記録集, 81-84, 2008.7
- 1 1) Infliximab 効果不十分例に滑膜切除術を施行し投与開始前の過去の切除滑膜と
病理所見を比較しえた一例
船元太郎, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 石田康行, 税所幸一郎
日本関節病学会誌, 27(2):171-175, 2008.7
- 1 2) 九州地方にて開催されたラグビー競技会に対する安全度評価(共著)
田島卓也, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 河原勝博, 中村嘉宏, 吉川大輔,
吉川教恵, 柏木輝行, 東原潤一郎
日本臨床スポーツ医学会誌, 16(3):402-407 2008.8
- 1 3) 反復性肩関節脱臼を呈する骨性 Bankart 病変に対する鏡視下修復術
石田康行, 帖佐悦男, 矢野浩明, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也,
崎濱智美, 三橋龍馬
宮崎県医師会医学会誌, 32(2):78-85, 2008.9
- 1 4) Expression of hepatocyte growth factor inhibitor type 1 on the epithelial
cell surface is regulated by hypoxic and oxidative
Wataru Komaki, Tsuyoshi Fukushima, Hiroyuki Tanaka,
Hiroshi Itoh, Etsuo Chosa, Hiroaki Kataoka
Virchows Arch, 453:347-357, 2008.9
- 1 5) 腰椎黄色靭帯内血腫の 1 例
小島岳史, 黒木浩史, 濱中秀昭, 久保紳一郎, 花堂祥治, 猪俣尚規,
桐谷 力, 福島克彦, 小牧 亘, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 57(4):567-571, 2008.9
- 1 6) 腰痛症に対するジブカイン塩酸塩配合薬によるトリガーポイント注射の治療効果
公文崇詞, 久保伸一郎, 黒木浩史, 濱中秀昭, 帖佐悦男
整形・災害外科, 51(11):1477-1487, 2008.10
- 1 7) 当院における手術後の創部管理について
川添浩史, 福嶋秀一郎, 森治樹
整形外科と災害外科, 57(2):269-271, 2008.10

- 18) 当科でのオーバーヘッドトラクションによる先天性股関節脱臼の治療経験
小牧ゆか, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 渡邊信二, 濱田浩朗,
野崎正太郎, 前田和徳, 中村嘉宏, 船元太郎
整形外科と災害外科, 57(2):242-247, 2008.10
- 19) 脳性麻痺片麻痺患者における非麻痺側の歩行分析評価
福田一, 柳園賜一郎, 山口和正
整形外科と災害外科, 57(2):234-237, 2008.10
- 20) 脳性麻痺片麻痺患者の骨盤前傾可動域を含めた歩行分析評価
柳園賜一郎, 吉川大輔, 福田一, 山口和正
整形外科と災害外科, 57(2):234-233, 2008.10
- 21) 環軸椎亜脱臼に対する Goel-Harms technique
樋口誠二, 猪俣尚規, 桐谷力, 濱中秀昭, 花堂祥治, 黒木浩史,
久保紳一郎, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 57(2):211-217, 2008.10
- 22) 【上肢の外科 最近の進歩】手関節・手疾患の治療 母指手根中手変形性関節症の
治療 母指手根中手関節症に対する固定術の経験(共著)
崎濱智美, 矢野浩明, 帖佐悦男
別冊整形外科, 54:199-202, 2008.10
- 23) 股関節における臼蓋被覆についての有限要素法による応力解析
趙昕, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 渡邊信二, 鄧鋼
日本臨床バイオメカニクス学会誌, 29:321-324, 2008.11
- 24) 有限要素法による寛骨臼関節唇の力学的検討
鳥取部光司, 帖佐悦男, 趙昕, 渡邊信二, 鄧鋼
日本臨床バイオメカニクス学会誌, 29:317-320, 2008.11
- 25) 3次元有限要素法による肩関節の応力解析(共著)
井上篤, 後藤啓輔, 田島直也, 帖佐悦男
日本臨床バイオメカニクス学会誌, 29:77-80, 2008.11
- 26) Therapeutic efficacy of intra-articular adrenomedullin injection in
antigen-induced arthritis in rabbits
Toshiyuki Okura, Kousuke Marutsuka, Hiroaki Hamada,
Tomohisa Sekimoto, Tsuyoshi Fukushima, Yujiro Asada,
Kazuo Kitamura, Etsuo Chosa
Arthritis Research & Therapy, 10(6):R133-R142, 2008.11

- 27) 皮切にこだわらない MIS 人工股関節置換術
 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 前田和徳,
 野崎正太郎, 中村嘉宏, 船元太郎, 柏木輝行
 Hip Joint, 34:479-482, 2008.11
- 28) 臼蓋形成不全症における SNP 解析
 関本朝久, 帖佐悦男, 船元太郎, 濱田浩朗, 坂本武郎, 渡邊信二,
 野崎正太郎, 前田和徳, 中村嘉宏
 Hip Joint, 34:520-523, 2008.11
- 29) 腰椎椎間板ヘルニア再発危険因子の検討
 後藤啓輔, 田島直也, 井上篤, 小松奈美, 弓削孝雄, 福島克彦, 久保紳一郎
 宮崎県医師会医学雑誌, 32:26-32, 2008
- 30) モアレ法による側彎症学校検診の検証
 黒木浩史, 久保紳一郎, 帖佐悦男, 田島直也
 脊柱変形, 12(1):14-20, 2008.12

◆ 学会報告

- 1) 脳性麻痺片麻痺患者 1 例に対するアキレス腱延長術前後の歩行分析評価
 柳園賜一郎, 福田一, 山口和正
 第 24 回九州小児整形外科集談会, 2008.1,福岡
- 2) 指趾短縮に対し 4 ヶ所の指(趾)骨延長を行った一症例
 渡邊信二, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 濱田浩朗, 野崎正太郎,
 前田和徳, 中村嘉宏, 船元太郎, 崎濱智美, 梅崎哲矢
 第 24 回九州小児整形外科集談会, 2008.1,福岡
- 3) 有痛性外脛骨の観血的治療経験
 園田典生, 公文崇詞, 帖佐悦男
 第 38 回宮崎県スポーツ医科学研究会, 2008.1,宮崎
- 4) 骨性バンカート病変に対する鏡視下バンカート修復術
 三橋龍馬, 石田康行, 矢野浩明, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也,
 山口志保子, 帖佐悦男
 第 38 回宮崎県スポーツ医科学研究会, 2008.1,宮崎
- 5) 投球障害に対する当院の取り組み一機能障害・投球動作の意識と投球フォームの関連一
 宮本浩幸, 井崎守, 尾崎勝博, 井上篤, 小松奈美, 後藤啓輔, 田島直也
 第 38 回宮崎県スポーツ医科学研究会, 2008.1,宮崎

- 6) 投球障害肘に対する手術療法の検討
樋口潤一, 獅子目賢一郎
第 38 回宮崎県スポーツ医科学研究会, 2008, 1, 宮崎
- 7) 当院における ACL 再建術の検討
大崎泰
第 38 回宮崎県スポーツ医科学研究会, 2008, 1, 宮崎
- 8) 空手道競技大会における傷害調査
吉川教恵, 山本恵太郎, 吉川大輔, 帖佐悦男
第 16 回鹿児島県スポーツ医学研究会, 2008, 2, 鹿児島
- 9) 座位・立位姿勢における食事動作 —三次元動作解析装置を用いて—
濱田光信, 吉永由紀, 柳園賜一郎, 山口和正
第 30 回宮崎リハビリテーション研究会, 2008, 2, 宮崎
- 1 0) 両側高度内反足変形を呈した両側 TKA 患者の術後理学療法の経験
那須優一, 大山成美, 浪平辰州, 小菌敬洋, 河野勇泰喜, 平野浩二
第 30 回宮崎リハビリテーション研究会, 2008, 2, 宮崎
- 1 1) 当院大腿骨頸部骨折患者の転帰先別にみる歩行能力の検討
大山成美, 那須優一, 浪平辰州, 小菌敬洋, 河野勇泰喜
第 30 回宮崎リハビリテーション研究会, 2008, 2, 宮崎
- 1 2) 大腿骨頸部骨折術後の Home Exercise に関して —継続率と運動機能の調査—
迫田勇一郎, 時任完佳, 中西佑治, 速水智朗, 石川博隆, 渡辺一徹, 野海渉,
小牧 亘, 田辺龍樹, 小牧一麿
第 30 回宮崎リハビリテーション研究会, 2008, 2, 宮崎
- 1 3) 右肘部前面筋層間に生じた極めて稀な Parachordoma の 1 例
高見博昭, 麻生邦一
第 29 回九州手の外科研究会, 2008, 2, 佐世保
- 1 4) 長期観察しえた橈骨遠位端巨細胞腫に対する尺骨遠位端移行による
手関節近位列固定術の症例
麻生邦一, 高見博昭, 平川敬
第 29 回九州手の外科研究会, 2008, 2, 佐世保
- 1 5) 上肢に発生した滑膜肉腫の 2 症例
崎濱智美, 矢野浩明, 山本恵太郎, 石田康行, 河原勝博, 田島卓也,
帖佐悦男
第 29 回九州手の外科研究会, 2008, 2, 佐世保

- 1 6) SLAC wrist に伴う右母指・示指・中指の屈筋腱皮下断裂の1症例
高見博昭, 麻生邦一
第 29 回九州手の外科研究会, 2008, 2, 佐世保
- 1 7) 肘部に発生した Parachordoma の1例
高見博昭, 麻生邦一
第 29 回九州手の外科研究会, 2008, 2, 佐世保
- 1 8) 不安定性骨盤輪骨折における創外固定+経皮的ピンニングの有用性
野崎正太郎, 帖佐悦男, 中村嘉宏
第 31 回宮崎救急医学会, 2008, 2, 宮崎
- 1 9) Ninja(ir-net による関節リウマチデータベース)からみた滑膜切除の変化
税所幸一郎, 有住裕一, 江夏剛, 帖佐悦男
第 23 回宮崎県リウマチ研究会/第 16 回宮崎リウマチのケア研究会,
2008, 2, 宮崎
- 2 0) C 型肝炎合併関節リウマチ患者に対しエタネルセプトおよびインターフェロン療法を
併用した2例
日高利彦, 山元美保子, 前田啓一, 黒田宏, 篠原典夫, 南寛之, 砂濱重仁
第 35 回九州リウマチ学会, 2008, 3, 宜野湾
- 2 1) School Screening for Scoliosis and its Problem in Japan
Naoya Tajima, Hiroshi Kuroki
The 17th Taiwan-Japan Orthopaedic Symposium,
2008, 4, Taiwan
- 2 2) 初代培養におけるアドレノメデュリンの細胞増殖抑制効果)
濱田浩朗, 帖佐悦男, 関本朝久, 坂本武郎
リウマチ学会 2008, 2008, 4, 札幌
- 2 3) 当院における腰椎椎間板ヘルニア再発危険因子の検討
後藤啓輔, 田島直也, 久保紳一郎, 井上篤, 小松奈美, 帖佐悦男
第 37 回日本脊椎脊髄病学会, 2008, 4, 東京
- 2 4) Ninja(iR-net による関節リウマチデータベース)を利用した関節リウマチ関連骨関節
腱手術の分析(第3報)2006 年度について
税所幸一郎, 當間重人
第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会/第 17 回国際リウマチ
シンポジウム, 2008, 4, 札幌

- 25) 一般整形外科医による Damage Control Orthopaedics 導入の試み
中村嘉宏, 帖佐悦男, 野崎正太郎
第12回日本救急医学会九州地方会, 2008, 5, 佐賀
- 26) 運動器学校検診の実施
山本恵太郎, 帖佐悦男, 矢野浩明, 河原勝博, 石田康行, 田島卓也
第81回日本整形外科学会学術総会, 2008, 5, 札幌
- 27) 脊柱側彎症に対するぶら下がり単純 X 線撮影
黒木浩史, 久保紳一郎, 帖佐悦男, 田島直也
第82回日本整形外科学会学術総会, 2008, 5, 札幌
- 28) 急速破壊型股関節症における股関節の形態学的特徴
吉川大輔, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗,
野崎正太郎, 前田和徳, 中村嘉宏
第83回日本整形外科学会学術総会, 2008, 5, 札幌
- 29) 臼蓋形成不全における SNP 解析
関本朝久, 帖佐悦男, 船元太郎, 濱田浩朗, 坂本武郎, 渡邊信二,
野崎正太郎, 前田和徳, 中村嘉宏
第84回日本整形外科学会学術総会, 2008, 5, 札幌
- 30) 股関節の手術的脱臼法 -術後6年以上経過例-
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗,
野崎正太郎, 前田和徳, 船元太郎
第85回日本整形外科学会学術総会, 2008, 5, 札幌
- 31) HGF activator inhibitor type 1 (HAI-1) の転写制御機構の解析
小牧亘, 福島剛, 田中弘之, 向井尚一郎, 片岡 寛章
日本病理学会, 2008, 5, 金沢
- 32) 変形性膝関節症に対するヒアルロン酸製剤と運動療法の評価検討
鳥取部光司, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 坂本武郎, 野崎正太郎, 河原勝博,
川野啓一郎
第45回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2008, 6, 横浜
- 33) Paralabral cyst に対する肩峰下滑液包からの鏡視下除圧術の経験
石田康行, 帖佐悦男, 矢野浩明, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也
第34回日本関節鏡学会学術集会, 2008, 6, 東京
- 34) 側彎症診療における腹皮反射の意義
黒木浩史, 猪俣尚規, 久保紳一郎, 濱中秀昭, 花堂祥治, 帖佐悦男
第69回西日本脊椎研究会, 2008, 6, 福岡

- 35) 足趾仮骨延長症例の検討
梅崎哲矢, 帖佐悦男, 渡邊信二, 坂本武郎, 関本朝久, 濱田浩朗,
前田和徳, 野崎正太郎, 中村嘉宏, 船元太郎, 吉川大輔, 崎濱智美
第 115 回西日本整形・災害外科学会, 2008, 6, 北九州
- 36) 骨関節感染症に対する抗生剤含有セメントの使用経験
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗,
前田和徳
第 115 回西日本整形・災害外科学会, 2008, 6, 北九州
- 37) 胸椎・腰椎部の脊髄腫瘍摘出術について
久保伸一郎, 帖佐悦男, 黒木浩史, 花堂祥治, 濱中秀昭
第 115 回西日本整形・災害外科学会, 2008, 6, 北九州
- 38) 鏡視下骨性バンカート修復術
石田康行, 帖佐悦男, 矢野浩明, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也
第 115 回西日本整形・災害外科学会, 2008, 6, 北九州
- 39) 当科における中高年女性に対する膝前十字靭帯再建術の治療成績
山口志保子, 山本恵太郎, 矢野浩明, 河原勝博, 石田康行, 田島卓也,
三橋龍馬, 帖佐悦男
第 115 回西日本整形・災害外科学会, 2008, 6, 北九州
- 40) 膝関節可動域制限を認めた滑膜ヒダ障害の治療経験
園田典生, 公文崇詞, 帖佐悦男
第 115 回西日本整形・災害外科学会, 2008, 6, 北九州
- 41) 踵腓靭帯単独損傷と anatomical variation との関連
岩城彰, 倉岡晃夫, 諸岡正明, 金井純次, 土屋利紀
第 115 回西日本整形・災害外科学会, 2008, 6, 北九州市
- 42) 認知症患者の大腿骨転子部骨折に対する術後予後の比較検討—重症度別の比較検討—
公文崇詞, 園田典生, 帖佐悦男
第 34 回日本骨折治療学会, 2008, 6, 福岡
- 43) 当院回復期リハビリテーション病棟における脳血管疾患患者の障害と
バーセルインデックスとの関連について
吉富健, 内山富士男, 大野和男
第 45 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2008, 6, 横浜市
- 44) 高齢者の歩行補助具の検討
今村義典, 田中正一, 仲田聡子, 前原愛和, 溝口照章, 末永英文
第 45 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2008, 6, 横浜市

- 45) 転倒リスクと運動器不安定症の診断基準との関連について
田中正一, 江頭有朋, 末永英文
第45回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2008, 6, 横浜市
- 46) 第6回ラグビーワールドカップへの帯同経験
田島卓也, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 河原勝博, 古谷正博
第34回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2008, 7, 東京
- 47) 学校における運動器検診について—宮崎県—
帖佐悦男, 山本恵太郎, 矢野浩明, 河原勝博, 石田康行, 田島卓也
第34回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2008, 7, 東京
- 48) 変形性膝関節症に対する運動療法とヒアルロン酸製剤の短期臨床効果の検討
鳥取部光司, 帖佐悦男, 田邊龍樹, 迫田勇一郎, 河原勝博
第20回日本運動器リハビリテーション学会, 2008, 7, 東京
- 49) 当院における腰椎後方椎体間固定術(PLIF)後骨癒合不良因子の検討
福島克彦, 後藤啓輔, 田島直也, 弓削孝雄, 井上篤, 久保紳一郎
第56回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎
- 50) 両側大腿骨頸部に insufficiency fracture を生じた1例
増田寛, 福元洋一, 森治樹, 小島岳史
第56回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎
- 51) 人工関節置換術後に生じた大腿骨頸部骨折の2例
川添浩史, 福嶋秀一郎
第56回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎
- 52) 転子部骨折術後にラグスクリューの骨内移動を生じた2例
塩月康弘, 勝篤葉子
第56回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎
- 53) 大腿骨近位部骨折術後歩行能の獲得時期と転帰先の検討
浪平辰州, 上通一師, 福田一
第56回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎
- 54) 当院における術後深部静脈血栓症の予防
吉川教恵, 柏木輝行, 吉田尚紀, 山田美都子, 矢野良英
第56回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎
- 55) 舟状骨骨折に対する治療経験
小牧亘, 松元征徳, 本部浩一, 益山松三
第56回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎

- 5 6) 粉碎関節内型の上橈骨遠位部骨折に対する創外固定法の治療成績
川野彰裕, 松岡知己, 三橋龍馬, 樋口誠二
第 56 回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎
- 5 7) 上橈骨遠位端骨折に対する ACU-LOC Distal Radius Plate System の使用経験
森治樹, 福元洋一, 増田寛, 小島岳史
第 56 回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎
- 5 8) 当院における橈骨遠位端骨折に対する、掌側ロッキングプレートによる治療経験
河野立, 栗原典近, 村上弘, 甲斐糸乃, 比嘉聖
第 56 回宮崎整形外科懇話会, 2008, 12, 宮崎
- 5 9) 橈骨遠位端骨折後に遠位橈尺関節障害を来した症例
崎濱智美, 矢野浩明, 山本恵太郎, 石田康行, 河原勝博, 田島卓也,
梅崎哲矢, 帖佐悦男
第 56 回宮崎整形外科懇話会, 2008, 7, 宮崎
- 6 0) MX-2000 ステム使用 3 年経過例の検討
坂本武郎, 帖佐悦男, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 野崎正太郎,
前田和徳, 中村嘉宏
第 17 回 MX 人工股関節研究会, 2008, 7, 東京
- 6 1) HTLV-1 キャリアーに発症した膝滑液包炎の一例
濱田浩朗, 帖佐悦男
第 36 回九州リウマチ学会, 2008, 9, 佐賀
- 6 2) Effect of Direct Angiogenesis Inhibition in Rheumatoid Arthritis Using a Soluble Vascular Endothelial Growth Factor Receptor 1 Chimeric Protein
Sekimoto T, Chosa E, Hamada H, Sakamoto T, Watanabe S, Nozaki S, Maeda K, Nakamura Y, Funamoto T
13th Congress of the Asia Pacific League of Associations for Rheumatology, 2008, 9, 横浜
- 6 3) Increased plasma adrenomedullin and PAMP concentrations in patient with rheumatoid arthritis compared to those with control subjects
Hamada H, Sekimoto T, Chosa E
13th Congress of the Asia Pacific League of Associations for Rheumatology, 2008, 9, 横浜
- 6 4) 特発性側彎症に対するぶら下がり単純 X 線撮影の意義
黒木浩史, 久保伸一郎, 帖佐悦男, 田島直也
第 42 回日本側彎症学会, 2008, 10, 奈良

- 85) 寛骨臼球状骨切り術の長期成績
中村嘉宏, 長鶴義隆, 帖佐悦男, 松岡知己, 川野彰裕
第35回日本股関節学会学術集会, 2008, 12, 大阪
- 86) 白蓋形成不全における SNP 解析
関本朝久, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 濱田浩朗, 野崎正太郎,
前田和徳, 中村嘉宏
第35回日本股関節学会学術集会, 2008, 12, 大阪
- 87) 白蓋骨嚢胞がある症例に対する Periacetabular osteotomy の治療成績
坂本武郎, 帖佐悦男, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 野崎正太郎,
前田和徳, 中村嘉宏
第35回日本股関節学会学術集会, 2008, 12, 大阪
- 88) 当科での OHT による先天性股関節脱臼の治療経験
渡邊信二, 帖佐悦男, 関本朝久
第19回日本小児整形外科学会学術集会, 2008, 12, 東京
- 89) 宮崎県で開催された高校ラグビー競技会に対する安全度評価
吉川大輔, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 田島卓也, 中村嘉宏
第21回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2008, 12, 福岡
- 90) 当科における中高年女性に対する膝前十字靭帯再建術の治療成績
崎濱智美, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也, 矢野浩朗, 石田康行,
梅崎哲矢, 帖佐悦男
第21回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2008, 12, 福岡
- 91) 肩甲上腕関節窩の腱板機能に対する影響—三次元有限要素法を用いた応力解析—
井上 篤, 後藤啓輔, 小園敬洋, 弓削孝雄, 田島直也, 佐藤征亜
第57回宮崎整形外科懇話会, 2008, 12, 宮崎
- 92) Modified Stoppa Approachが有用と思われた臼底骨折の2症例
野崎正太郎, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 渡邊信二, 濱田浩朗,
前田和徳, 池尻洋史, 中村嘉宏, 福田 一, 山口志保子, 河野雅充,
酒井 健
第57回宮崎整形外科懇話会, 2008, 12, 宮崎
- 93) Sacral insufficiency fracture の治療経験
猪俣尚規, 久保紳一郎, 黒木浩史, 濱中秀昭, 花堂祥治, 海田博志,
梅崎哲矢, 深尾 悠, 帖佐悦男
第57回宮崎整形外科懇話会, 2008, 12, 宮崎

- 9 4) 棘上筋腱大結節付着部関節面側裂離骨折後の肩インピンジメント症候群に対する鏡視下手術の経験
石田康行, 帖佐悦男, 矢野浩明, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也, 崎濱智美, 日吉優
第57回宮崎整形外科懇話会, 2008, 12, 宮崎
- 9 5) 高齢社会における本院の回復期リハビリ病棟の役割と問題点
小牧亘, 松元征徳, 本部浩一, 益山松三,
第57回宮崎整形外科懇話会, 2008, 12, 宮崎
- 9 6) 当院における大腿骨遷位骨折に対するロッキングプレートの使用経験
村上弘, 栗原典近, 河野立, 甲斐糸乃, 比嘉聖
第57回宮崎整形外科懇話会, 2008, 12, 宮崎

◆ 総 説

- 1) 【下肢荷重関節の最新画像診断】変形性股関節症の画像診断
帖佐悦男
関節外科, 27(6):687-694, 2008.6
- 2) 脊椎装具に強くなる!Basic&Tips① Milwaukee Brace
黒木浩史, 田島直也
脊椎脊髄ジャーナル, 21(7):789-795, 2008.7
- 3) 地方におけるこれからの整形外科医療
帖佐悦男
日本整形外科学会雑誌, 82(10):868-870, 2008.10
- 4) 腰椎分離症の up to date -診断と治療・予防の実際-
帖佐悦男
臨床スポーツ医学, 25(12):1343, 2008.12
- 5) 安全かつ簡便な頸椎椎弓根スクリューの刺入手技
久保紳一郎, 帖佐悦男, 黒木浩史, 花堂祥治, 濱中秀昭
日本脊椎脊髄病学会雑誌, 19(2):719-723, 2008.12

◆ 講 演

- 1) スポーツ診療における診断に際してのピットフォール
帖佐悦男
沖縄整形外科医会(沖縄整形外科セミナー2008), 2008.1, 沖縄
- 2) スポーツ診療における診断に際してのピットフォール
帖佐悦男
第 11 回群馬スポーツ医学セミナー, 2008.1, 群馬
- 3) 股関節疾患の画像診断と治療—最近の話題を含めて—
帖佐悦男
福井県整形外科医会, 2008.2, 福井
- 4) 高齢者に多い疾患—運動器を中心に— 若さを保つために
帖佐悦男
高等教育コンソーシアム宮崎 平成 19 年度公開フォーラム,
2008.2, 宮崎
- 5) 股関節疾患の診断と治療
帖佐悦男
第 132 回神奈川整形災害外科研究会, 2008.3, 横浜
- 6) 腰部脊柱管狭窄症の治療戦略
濱中秀昭
宮崎腰部脊柱管狭窄症フォーラム 2008, 2008.4, 宮崎
- 7) 宮崎県の腰部脊柱管狭窄症実態調査報告
川野啓一郎
宮崎腰部脊柱管狭窄症フォーラム 2008, 2008.4, 宮崎
- 8) 見過ごされやすいスポーツ外傷・障害
帖佐悦男
第 81 回日本整形外科学会学術総会, 2008.5, 札幌
- 9) 見過ごされやすいスポーツ外傷・障害
帖佐悦男
第 81 回日本整形外科学会学術総会, 2008.5, 札幌
- 10) 運動器疾患の最近の話題—関節リウマチ、骨粗鬆症、変形性関節症
帖佐悦男
南那珂医師会生涯教育医学会, 2008.6, 日南

- 1 1) 運動器疾患の最近の話題-関節リウマチ、骨粗鬆症、変形性関節症
帖佐悦男
宮崎県骨粗鬆症講演会, 2008.6, 宮崎
- 1 2) 当院におけるリウマチ治療とレミケード使用実際
税所幸一郎
第 5 回都城リウマチ研究会, 2008.6, 宮崎市
- 1 3) 当院におけるリウマチ治療とレミケード使用実際
税所幸一郎
第 5 回宮崎膠原リウマチ治療研究会, 2008.6, 宮崎市
- 1 4) 成長期のスポーツ傷害
帖佐悦男
第 81 回東京医科歯科大学整形外科集談会, 2008.7, 東京
- 1 5) 臨床に役立つ股関節疾患の診断と治療
帖佐悦男
第 21 回富山県整形外科臨床医会, 2008.10, 富山
- 1 6) スポーツと健康 -ケガなく楽しくスポーツをするには！-
帖佐悦男
西小林元気クラブ「健康講座」, 2008.10, 小林
- 1 7) 有限要素法を用いた脊椎疾患の病態解明-腰椎疾患を中心に-
帖佐悦男
第 23 回日本整形外科学会基礎学術集会(大仏セミナー),
2008.10, 京都
- 1 8) スポーツと健康 -ケガなく楽しくスポーツをするには！-
帖佐悦男
スポーツドクター講演会, 2008.10, 三股町
- 1 9) 見過ごすと困る運動器疾患
帖佐悦男
自治医大県人会勉強会, 2008.11, 宮崎
- 2 0) 整形外科での関節リウマチの治療
税所幸一郎
第 26 回リウマチ移動教室, 2008.11, 小林

- 2 1) 静脈血栓塞栓症予防について—2008 年日本整形外科学会予防ガイドラインより—
税所幸一郎
都城病院合同勉強会, 2008.11, 都城
- 2 2) 成長期のスポーツ障害について—外傷と障害の違い—
佐藤信博
延岡市立西階中学校, 2008.11, 延岡
- 2 3) スポーツ傷害と学童期運動器検診
山本恵太郎
市民公開講座—ひむか骨と関節を考える会—, 2008.11, 宮崎
- 2 4) 関節リウマチの早期診断と最近の治療方法
税所幸一郎
市民公開講座—ひむか骨と関節を考える会—, 2008.11, 宮崎
- 2 5) 骨粗鬆症の最近の話題
渡邊信二
市民公開講座—ひむか骨と関節を考える会—, 2008.11, 宮崎
- 2 6) 変形性関節症—腰・膝痛の予防法と治療—
松元征徳
市民公開講座—ひむか骨と関節を考える会—, 2008.11, 宮崎

編集後記



今回のテーマは“私の楽しみ”とさせていただきます。医師という職業のためか、激務に追われ、気がついてみると無趣味の人間になっていました。人生を考えた時、このままでは味気なく、楽しみながら生きている方に秘訣をお聞きしたいと思いテーマとさせていただきます。そんな中、御寄稿いただいた先生方には感謝いたします。会員の皆様は行間に隠されたメッセージも感じながら熟読いただければ幸いです。

新入会員紹介として賛助会員、千代反田泉先生、千代反田晋先生、正会員、川野先生、永井先生、宮元先生に御入会いただき自己紹介を御寄稿していただきました。

その他、奨励賞、同門会、医局行事、新規開業などがあります。皆様には隅々まで目を通していただけると幸いです。

最後に何かとお忙しい中、本誌に御寄稿いただいた諸先生方に深謝いたします。

平成22年5月吉日

渡 邊 信 二
石 田 康 行 (文貴)
川 野 実 夏

宮崎大学医学部整形外科

同 門 会 誌

発 行 日 平成22年5月

発 行 者 宮崎大学医学部整形外科学教室同門会

編集責任者 渡 邊 信 二

印 刷 所 宮崎県児湯郡新富町大字上富田4726-1
身体障害者就労支援施設 あゆみの里

